

広報

いかが

2023年

9

No.381



特集

9月は「アルツハイマー月間」です 「認知症サポーター」を知っていますか？

今月の表紙は、ライトアップイベント“お城のまわり”の様子

今月の納税

●納期限 10月2日(月)

国民健康保険税(3期)

伊賀市の情報
発信中!



伊賀市ホームページ



公式 YouTube
「忍者市チャンネル」



公式 Facebook



10言語対応「広報いが」
カタログポケット



「認知症サポーター」を

知っていますか？



【問い合わせ】

地域包括支援センター

☎ 26・1521 FAX 24・7511

✉ soudan-shien@city.iga.lg.jp



あなたもわたしも「認知症サポーター」になろう！

市では「認知症サポーター養成講座」を実施します。認知症の症状や対応方法について、講話や寸劇を通して学んでみませんか。

認知症サポーター養成講座



地域包括支援センター
マスコットキャラクター
にんサポくん



申込フォーム

- 【とき】 ① 9月27日(水) 午後1時30分～3時
- ② 10月19日(木) 午後1時30分～3時
- ③ 10月30日(月) 午後1時30分～3時

- 【ところ】 ① 阿保地区市民センター
- ② 本庁舎 5階会議室 501
- ③ ハイトピア伊賀 4階多目的室

【講師】 キャラバン・メイトいが

【定員】 ①先着10人 ②③先着30人

【申込受付開始日】 各回とも9月11日(月)

【申込方法】 申込フォーム、または住所・氏名・電話番号を下記まで

【申込先・問い合わせ】 地域包括支援センター南部サテライト

☎ 52-2715 FAX 52-2281 ✉ soudan-shien@city.iga.lg.jp

※ 10人以上の団体を対象に随時「認知症サポーター養成講座」を実施しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

サポーターの目印は「オレンジリング」!



アルツハイマー月間 啓発イベント

- ◆ 街頭啓発 (イオン伊賀上野店) 9月12日(火) 午後2時～
- ◆ パネル展示 (本庁舎) 9月11日(月)～20日(水)
- ◆ 関連図書の紹介 (上野図書館) 9月中

「キャラバン・メイトいが」は、認知症になってもお互いに支え合い、寄り添いながら生活できるまちをめざす地域のボランティア団体です。「認知症サポーター養成講座」を通して市民の皆さんへの啓発活動を行っています。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



講座参加者の声

ひとりでも多くの人に認知症について知ってもらうことが重要だと思います。広く周知できたらと思います。



軽い認知症だった自分の母親に、学習していたらもっと優しく接することができたのにと後悔しています。今日のこのような学習の場があちこちで開かれたら良いと思います。



認知症の人が地域で普通に生活していることを理解するために、地域の集まりの時や組長会議や学校などでも、認知症の学びの時間を取り入れていった方が良いと思います。



初めて認知症について学びました。知らないことや偏見があったように思います。



「認知症」とは

さまざまな脳の病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に低下し、認知機能(記憶、判断力など)が低下して、社会生活に支障をきたした状態をいいます。

高齢化に伴い、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。地域で認知症の人が安心して生活するためには、みんなが認知症のことを正しく理解することが大切です。

認知症の人やその家族の応援者「認知症サポーター」

市内に認知症サポーターは8千人以上!

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守りサポートをする応援者です。
現在、市内には8千人以上の認知症サポーターがいます。小・中学生の「ジュニアサポーター」もいます。認知症サポーターが増えることは、認知症の人やその家族が、地域で安心して暮らせることにつながります。

あなたは自分が認知症と診断されたら、親しい人や近所の人に「認知症」であることを伝えますか?
認知症という病気に対する誤解や偏見が未だにあり、自身や家族が「認知症であることを知られたくない」と感じる人が多くいます。
「認知症になっせん。助けてなー」「わかったー困ったことやわからんことがあつたら言つてな。こつちも声かけるでな」とお互いが言い合える地域社会になるために、認知症について正しく知ることからはじめませんか。

一次救命処置の流れ

1 反応を確認する

周囲の安全を確認してから倒れている人に近づき、肩を叩きながら声をかけましょう。

2 応援を呼ぶ

呼びかけても反応や返事がない場合(判断に迷う場合)は、「人が倒れています！誰か来てください！」と人を呼びましょう。応援が来たら、「119番に通報して」「AEDを持ってきて」と頼みましょう。

その2
もしも誰かが突然倒れたら
誰かが倒れてしまった時には、周りの人と協力しながら助ける必要があります。
勇気をだして、自分にできることをやってみましょう。

救急車を呼ぶには 119番

何をすればよいか分からないとき、判断に困ったときは119番で指示をもらいます。

ゆっくり
落ち着いて！



救急です。会社の前で、人が急に倒れました。呼びかけても反応がありません。伊賀市〇〇町〇番地〇〇ビルの前です。

119番消防署です。火事ですか、救急ですか？

それでは、これから指示するとおりにしてください。



3 呼吸の確認

倒れている人の胸やお腹の動きをみて「呼吸がない」「普段どおりの息をしていない」「呼吸しているかわからない」場合は、胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始します。

4 胸骨圧迫(心臓マッサージ)

胸骨(胸の中央にある硬い骨)の下半分に、両手を組んだ手の付け根を当てて強く押します。



ひじはまっすぐ



目線は肩

強く！
胸が5センチ沈むまで、しっかり体重をかけて押す

速く！
1分間に100～120回のテンポで
休まずに！

倒れている人が動き出すか、救急隊が来るまで続ける

5 AEDを使う

AEDの音声や表示に従い、落ち着いて操作します。AEDを使ったあとは、そのまま胸骨圧迫を続けましょう。



音声を聞きながら使ってみましょう！

◆救急の日のごいごいを開催します
【とき】9月9日(土) 午前11時～午後2時 ※荒天中止
【ところ】プラント伊賀店 駐車場(ゆめが丘1丁目1-1)
救急車の展示・見学、応急手当ミニ講座など
詳しくは市ホームページをご覧ください

9月9日は救急の日 9月3日～9日は救急医療週間

わたしたちに できることを考えよう

【問い合わせ】 〇伊賀消防署管理課 ☎24-9120 FAX 24-9111 ✉kanri-fd@city.iga.lg.jp
〇医療福祉政策課 ☎22-9705 FAX 22-9673 ✉iryoufukushi@city.iga.lg.jp



その1
救急車や救急医療を
適正に利用しましょう

近年、全国的に救急車の出動件数・搬送人員はともに増えており、救急隊が現場に到着する時間も遅くなっています。

また、救急搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症者です。救急医療体制を維持するには、救急車や救急医療を適正にご利用いただくという市民の皆さん一人ひとりの協力が重要です。

救急医療は、緊急事態に備えるためのものなので、限られた医療スタッフで診療を行っています。緊急時以外は通常の診療時間内の受診を心がけましょう。

救急車を呼ぶか迷う場合や、どの病院に行けばよいか分からない場合などは、下記の電話相談窓口をぜひ利用してみてください。

電話相談窓口をご利用ください

伊賀市救急・健康相談ダイヤル 24 (24時間年中無休)

☎0120-4199-22

病気やケガなどで救急車を呼ぶか迷っているときの相談をはじめ、心と体のさまざまな相談に応じます。お受けできる相談は次のとおりです。

【医師にかかる前の相談】 受診の目安、受診科目の選択、希望地域などの情報

【健康に関する相談】 栄養、食事、運動、禁煙・禁酒、ダイエットの悩み、健康診断、予防接種、身体の症状に関すること、薬のこと、緊急時の応急処置、妊娠・出産・育児の悩み、心の悩みや不眠・ストレスへの対処法、家庭内介護のこと・介護疲れなど

医療ネットみえ(救急医療情報センター)

☎059-229-1199

救急車を呼ぶほどではないが、ケガや急病でどうしてもすぐに診察を受けたい場合に、受診可能な医療機関をコールセンターなどで案内しています。(24時間年中無休)

※案内を受けた医療機関には必ず電話をしてから受診してください。いざという時のために、スマートフォンに「ブックマーク」登録しておきましょう。



みえ子ども医療ダイヤル

☎#8000

(☎059-232-9955)

月～土曜日：午後7時30分～翌朝8時
日曜日・祝日：午前8時～翌朝8時(24時間)
子どもの急な病気や事故、薬に関するについて、医療関係の専門相談員が電話で相談に応じます。(18歳未満の子どもと家族が対象)

伊賀市防災情報アプリ「ハザードン」をご利用ください



このアプリは、伊賀市の避難情報（避難指示などの情報）や気象情報、行政情報（生活安全情報など）を迅速にお知らせします。

また、住民自治協議会・自治会からの「お知らせ」を地域内に発信・受信することができます。地域防災力を高めるためには、普段から住民自治協議会や自治会内で防災情報などを共有することが大切です。このため、住民自治協議会内などでのコミュニケーションツールとして利用できる情報共有機能として、ぜひ「お知らせ」発信機能の活用をご検討ください。

ダウンロード、アプリの設定方法は、市ホームページをご覧ください。



お知らせ（例）



◆アプリ「ハザードン」の主な機能

- 伊賀市が発令する住民自治協議会単位の避難情報を受け取ることができます。
- 土砂災害や洪水のハザードマップを確認できます。
- 地震や災害発生につながる気象警報などを受け取ることができます。

【問い合わせ】 防災危機対策局 ☎ 22-9640 FAX 24-0444 ✉ kikikanri@city.iga.lg.jp



「広報いが」を市内施設などに設置しています

◆お気軽にお持ち帰りください

「広報いが」は、自治会などを通じて市内に各戸配布しているほか、市内の商業施設などにも設置しています。お近くの設置場所でご自由にお取りください。

【上野】

- 伊賀市役所本庁舎 1階総合受付
- ハイトピア伊賀 2階上野支所、4階、5階
- 上野図書館 ○アピタ伊賀上野店（服部町 1788）
- イオン伊賀上野店（上野茅町 2519）
- マックスバリュ上野店（四十九町 1850）
- マックスバリュ上野小田店（小田町 281）
- マックスバリュ佐那具店（佐那具町 25-1）
- ぎゅーとらラプリー伊賀西明寺店（西明寺 1896-2）
- ぎゅーとらラプリー伊賀小田店（小田町 262）
- プラント伊賀店（ゆめが丘 1丁目 1-1）
- ミニストップ上野平野店（平野西町 53）
- 岡森書店白鳳店（平野西町 71）
- コメリ書房上野店（小田町 696-1）

- 井筒屋書店あかもん店（上野丸之内 74-1）
- ここね整骨院（服部町 3-103）
- カフェ ヴィーダー（上野東町 2934）

【伊賀】

- 伊賀支所 ○オークワ伊賀新堂店（新堂 214-1）

【島ヶ原】 島ヶ原支所

【阿山】 阿山支所

【大山田】

- 大山田支所
- 大山田産業振興センター（平田 950-1）

【青山】

- 青山支所（青山複合施設 アオーネ）
- A コープ青山店（阿保 464）

◆「広報いが」を設置いただける店舗などを募集中

市民の皆さんが身近な場所で「広報いが」を手にとることができるよう、「広報いが」を設置いただける店舗などを随時募集しています。ご協力いただける場合はご連絡ください。



【問い合わせ】 秘書広報課 ☎ 22-9636 FAX 24-7900 ✉ hisho@city.iga.lg.jp

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です
大地震に備えよう

【問い合わせ】 防災危機対策局 ☎ 22-9640 FAX 24-0444 ✉ kikikanri@city.iga.lg.jp

内閣府防災情報



今後 30 年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率は 70～80%と予測されています。巨大地震が発生する前に日頃の備えを確認しましょう。

南海トラフ巨大地震 伊賀市で震度 6 弱

想定される中で最も大きな規模の地震が発生すると、全国で約 32 万人、県内でも 5 万 3,000 人が亡くなる予測されています。伊賀市では、市内のほとんどの地域で震度 6 弱の地震が発生し、建物の全壊が約 1,900 棟、死者が約 100 人、負傷者が約 1,000 人と推計されています。

【伊賀市への被害予想】



日頃からの備えで被害を最小限に

あなたの備えは大丈夫？
チェックしてみよう

- 家具などの転倒防止、家の耐震対策など安全を確保しよう。
- 安否確認の方法などを家族で決めておこう。
- 日頃からハザードマップなどで、危険箇所や避難場所の確認をしよう。
- ローリングストック*を活用し 1 週間程度の備蓄食糧などを確保しよう。
- 地域の防災訓練に積極的に参加しよう。

*ローリングストックって？

普段の食べ物や日用品を少し多めに購入しておき、古いものから順に消費し、消費した分を買い足すことで補充しながら備蓄していく方法

【備蓄品の例】



【最低 3 日分用意しましょう】

- 飲料水は 1 日 1 人 3 リットルが目安
- ご飯、ビスケット、乾パンなどのほか、たんぱく質が摂れる魚介や肉類の缶詰もおすすめです。

市ホームページでハザードマップを確認できます。



「誇れる伊賀市」「選ばれる伊賀市」の実現に向けて I-GABBITO 育成プロジェクト

I-GABBITO 育成プロジェクト

市では、伊賀市で生まれ育った若者の「住みたい」「住み続けたい」「帰ってきたい」という思いを育み、進学や就職を機に転出した若者のUターンと市への定住の促進をめざしてI-GABBITO 育成プロジェクトに取り組んでいます。

I-GABBITO 育成プロジェクトは、「自らが地域の担い手となり、より良い「伊賀」を創る意識、実行力を持った若者」を「I-GABBITO」と定義して、I-GABBITOに必要な「意欲」「知識」「実行力」を育むため、伊賀市若者会議の取り組みや、市内の県立高校3校との連携プロジェクトを行っています。

伊賀市若者会議

伊賀市若者会議は、I-GABBITOを発掘し育てることを目的に、市内在住・在勤者や出身者など、伊賀市にゆかりのある若者を対象として平成30年度に発足したグループです。任期は2年間で、令和4年度からスタートした第3期も2年目に入りました。現在10歳代から30歳代の33人のメンバーが「それぞれの色を組み、人と人とを結ぶ若者会議」を

スローガンに、自分たちでより良い伊賀市を創っていかうと活動しています。

また、伊賀市若者会議では、魅力ある伊賀市づくりをめざして、メンバーが市の事業に企画段階から参画したり、自分たちで個別プロジェクトを立ち上げ、子育て世代に向けた情報発信や音楽を通じた市の魅力発信、若者会議活動の広報宣伝などの活動を行っています。

今年度は、伊賀市若者会議活動のさらなる活性化をめざし、メンバー



▲伊賀市若者会議全体会の様子



▲個別プロジェクト「Como☆project」の活動「どうぞの和」の様子



▲個別プロジェクト「広報宣伝部」が作成した「伊賀市若者会議紹介カード」と「忍者トレイルランとコラボした缶バッジ」

伊賀市若者会議の活動は
公式 SNS でチェック！



Facebook



Instagram



X (Twitter)

メンバーが随時更新しています。

高校との連携

◆あけぼの学園高等学校 (地域と連携したキャリア教育)

これまでも市と協力しながら、各年次や総合学科の系列の授業などで、「地域と連携したキャリア教育」に取り組んできました。

1年次生の授業「産業社会と人間」では、「忍術」と防災の関わりについて学びました。今後、地域産業を知るために、地域で活躍している職業人の講演や地域の企業・事業所をめぐるフィールドワークを行う予定です。

2年次生では、地域の企業・事業所の協力をいただきインターンシップを通して、自分自身のキャリアについて考えます。

3年次生では、探究活動の一つとして、地元の名産を知るために地元名産の養肝漬をプロモーションするCMを制作する予定です。

他にも伊賀の地元食材を活用したレシピの考案なども



◆伊賀白鳳高等学校 (人材育成の礎は地域での実体験)

各科による地域との交流・体験を中心に据えています。

一例ですが、生物資源科は壬生野小学校の皆さんとともに西之澤のハナシヨウブの保全活動に取り組んでいます。機械科は上野東小学校の物品改修作業を行います。ヒューマンサービス科は今年度も地元保育園で交流します。

また12月16日(土)に「白鳳フェス」を伊賀白鳳高校を会場に開催し、日ごろの学習成果を地域の皆さんに発表する予定です。生産物の即売・カフェコーナーの設置・各学科の作品展示などを計画しています。

年度末には地元企業に協力いただき、企業見学会を実施し、将来にわたり活躍・貢献できる人材育成に取り組みます。



◆上野高等学校 (上高みらい探究)

1学年では、ブックレビューなど、探究的な学びの基礎となる経験を積みながら、インターネット検索などを活用して調べ学習や事前学習を行い、主に伊賀地域に関するテーマを設定します。その後、フィールドワークなどで現地の取材を行い、ポスターセッションにつなげます。

2学年では、1年次に広げた地域に関する知見をさらに深掘りし、先事例と比較したうえで活動します。1、2年ともに、市などからも課題をいただき、より幅の広いテーマに取り組みます。

3学年では、社会人として必要な知識や情報を学び、自己実現に向けての具体的な方法を検討し、未来への決意表明をする探究的活動に取り組みます。



伊賀市
若者会議
新規メンバー随時募集中

より良い「伊賀」を創るため、一緒に活動しませんか。
市内在住、在勤者や出身者など伊賀市にゆかりのある18歳以上35歳以下の人が対象です。

参加申込フォーム

【申込先・問い合わせ】 地域創生課



伊賀市若者会議と高校生が
コラボしました

昨年度、地域で活躍する高校生を応援するため、伊賀市若者会議の個別プロジェクト「#いがまるメール」が高校生の活動を取材しました。
インスタグラムで紹介していますので、ぜひご覧ください。

【問い合わせ】

地域創生課
TEL 22・96223 FAX 22・96772
chisou@city.iga.lg.jp



令和6年度 幼稚園・認定こども園（幼稚園） 来春4月からの入園児を募集します

【問い合わせ】 保育幼稚園課 ☎ 22-9655 FAX 22-9646 ✉ hoyou@city.iga.lg.jp



	〈公立幼稚園〉 桃青の丘幼稚園	〈私立幼稚園〉 白鳳幼稚園	〈私立認定こども園〉 認定こども園青山よさみ幼稚園
対象児童	3歳児	令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ	
	4歳児	平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ	
	5歳児	平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ	
募集人数	3歳児	満3歳児：11人 3歳児：13人	20人
	4歳児	若干名	若干名
	5歳児	若干名	若干名
申込方法	園にある入園願書に必要事項を記入の上、提出してください。		
申込期間	9月11日(月)～10月27日(金) 午前8時30分～午後5時 ※未就園児の集い「さくらっこ」は、年間8回程度予定しています。参加時に園見学もできます。園見学は、個別でも対応させていただきますのでお問い合わせください。なお、未就園児の集い「さくらっこ」については園ホームページをご覧ください。	9月15日(金) 午前8時30分～ ※先着順	9月11日(月) 午前9時～ ※先着順 ※青山よさみ幼稚園ぴよぴよランド（未就園児対象）に一度も参加したことがない人は、園にご連絡の上、9月中に園見学をお願いします。
預かり保育の実施時間	通常時：午後2時～6時 長期休暇時：午前8時30分～午後6時 ※午後6時までの預かり保育は令和6年4月から開始予定	通常時：午前8時～保育開始時間、保育終了後～午後6時 長期休暇時：午前8時～午後6時	通常時：午前7時30分～保育開始時間、保育終了後～午後6時30分 長期休暇・特別保育：(月～金曜日) 午前7時30分～午後6時30分 (土曜日) 午前7時30分～午後3時
申込先・問い合わせ	桃青の丘幼稚園 (上野丸之内 177-1) ☎ 26-5770	白鳳幼稚園 (上野伊予町 1067-1) ☎ 21-0091	認定こども園青山よさみ幼稚園 (柏尾 1397-14) ☎ 52-0433

※幼児教育・保育の無償化により毎月の幼稚園利用料は無償です。通園送迎費、給食費、行事費などは無償化の対象外です。年収360万円未満相当の世帯の児童と第3子以降の児童は給食費のうち副食（おかず・おやつなど）の費用が免除となります。
※入園料、その他諸費が別途必要です。（桃青の丘幼稚園は入園料無料）
※預かり保育の利用料は、3歳から5歳児（満3歳児

含む）の子どもで、保育の必要性の認定を受けると、無償（償還払い）となります。
※詳しい募集内容については各園へお問い合わせください。

保育所（園）・認定こども園（保育所部分）の募集は10月中旬からを予定しています。
詳しくは、広報いがが10月号でお知らせします。

ひとり親家庭を支援します



◆高等職業訓練促進給付金事業

生活を安定させるための資格を取得するため、養成機関で原則1年以上（令和3年4月1日から令和6年3月31日まで）に修業を開始する場合には、6月以上（の教育課程を修業し、資格取得が見込まれる人に支給します。）

【対象資格】

- 看護師（准看護師）
- 保育士 ○介護福祉士
- 作業療法士 ○理学療法士
- 歯科衛生士 ○美容師
- 社会福祉士 ○製菓衛生師
- 調理師
- シスコシステムズ認定資格
- LP1認定資格

【支給期間】

修業する期間の全期間
※上限は4年間

【支給額】

○市民税非課税世帯の場合…
10万円/月（最終年度のみ14万円/月）
○市民税課税世帯の場合…
7万5000円/月（最終年度のみ11万5000円/月）

◆自立支援教育訓練給付金

厚生労働大臣の指定する教育訓練講座を受講し、修了した場合に支給事業

合に支給します。

【対象講座】 雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座

【支給額】

対象講座を受講料の60%
※上限20万円
※支給額が1万2000円を超えない場合は対象外

◆母子・父子・寡婦

福祉資金貸付事業

母子・父子・寡婦家庭の経済的自立を促し、子どもの福祉を充実させるため、低利または無利子で各種資金（就業資金、修学資金など）の貸付が受けられます。

◆ひとり親家庭高等学校卒業

程度認定試験合格支援事業

ひとり親家庭の親およびその子どもが、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められる高等学校卒業程度認定試験の合格をめざす場合に支給します。

【支給額】

対象講座を受講料の20%
※上限は10万円
※支給額が40000円未満の場合は対象になりません。
※すべて、事前相談が必要です。

【問い合わせ】 こども未来課 ☎ 22-9609 FAX 22-9646 ✉ kodomo@city.iga.lg.jp



「NHKのど自慢」出場・観覧募集

【とき】

12月10日(日)
開場…午前11時
開演…午前11時50分
終演予定…午後1時15分
○予選会
12月9日(土)
開会…正午
結果発表…午後5時30分頃



【ところ】

伊賀市文化会館
(西明寺3240-2)

【ゲスト】

天童よしみ・石丸 幹一
※出場・観覧ともに必ずNHK津放送局ホームページで注意事項をご確認の上、お申し込みください。

◆出場申込

ウェブまたは郵便通常はがき(片道)で受け付けます。
○ウェブの場合
NHKサイトの専用
申込フォーム
<http://www.nhk.or.jp/tsu/>



【申込期限】

10月18日(水) 午後11時59分

○郵便の場合
通常はがき記載例

(表)

〒514-8531
63
NHK津放送局
「NHKのど自慢」 出場係

(裏)

①郵便番号
②住所
③氏名(ふりがな)
④年齢
⑤性別
⑥電話番号(携帯電話)
⑦職業(学生は学年、部活動なども記入)
⑧歌う曲目と歌手名
⑨選曲理由(詳しく)

【申込期限】

10月18日(水) ※必着

◆観覧申込

ウェブでのみ受け付けます。
<http://www.nhk.or.jp/tsu/>



【申込期限】

10月31日(火) 午後11時59分

【放送予定】

12月10日(日)
午後0時15分～1時(生放送)
総合・ラジオ第1・FM・国際放送

【問い合わせ】 ○NHK津放送局 ☎ 059-229-3000 (平日 午前9時30分～午後6時)
○文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619 ✉ bunka@city.iga.lg.jp



集団がん検診（後期分）・若年者健診（後期分）・国民健康保険集団特定健康診査

《検（健）診日程》

電話申込開始日	とき	ところ	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がんマンモ	若年者健診	国保特定
9月8日(金)	10月14日(土)	9:00～11:30	大山田福祉センター	●	●	●	●		
	10月15日(日)	9:00～11:30	島ヶ原支所	●	●	●	●		
	10月28日(土)	9:00～11:30	いがまち保健福祉センター	●	●	●	●	●	●
	10月29日(日)	9:00～11:30	青山福祉センター	●	●	●	●	●	●
9月22日(金)	11月2日(木)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●
	11月12日(日)	9:00～11:30	伊賀市役所	●	●	●	●	●	●
	11月18日(土)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●
	11月19日(日)	9:00～11:30	阿山支所	●	●	●	●	●	●
	12月1日(金)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター		●		●		
	12月9日(土)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●
	令和6年3月9日(土)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●		●		

《対象者・自己負担金》

検診名	対象者	自己負担金		
		74歳以下	75歳以上	
胃がん（バリウム検査）	平成16年4月1日以前生まれ	1,800円	800円	
大腸がん（2日分の採便）	平成16年4月1日以前生まれ	800円	500円	
前立腺がん（血液検査）	昭和49年4月1日以前生まれの男性	800円	500円	
子宮がん (子宮頸部細胞の採取と視診)	平成16年4月1日以前生まれの女性	1,400円	500円	
	平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの人は無料			
乳がん	マンモグラフィ	平成6年4月1日以前生まれの女性 ※妊娠中・授乳中および断乳後1年未満の人は受診できません。	1,600円	800円
	超音波（エコー）	○昭和59年4月2日～平成6年4月1日生まれの女性 ○40歳以上で妊娠中・授乳中・断乳後1年未満の女性	1,600円	
	昭和57年4月2日～昭和58年4月1日生まれの人は無料			
若年者健診 (身体測定、血液検査、心電図など)	昭和59年4月1日～平成16年4月1日生まれ	3,400円		

集団がん検診・特定健康診査などのお知らせ

9月4日(月)からウェブ先行予約開始

◆予約方法

【ウェブ】
申込開始日：9月4日(月)
二次元コードを読み込んで予約してください。



【電話】

申込開始日：検診日より異なります。13ページの表で申込開始日をご確認の上、お申し込みください。

☎22・96553

(平日午前8時30分～午後5時15分)
★予約時に次の項目をお聞きします。

- ① 検診希望日 ② 希望検診名
- ③ 住所 ④ 氏名
- ⑤ 生年月日 ⑥ 電話番号

※受付開始日の朝は電話が集中してかかりにくくなる場合がございます。しばらくしてからおかけなおしてください。
※聴覚障がいなどで電話での申し込みが困難な人は、来庁、ファックス(FAX 22・9666)などでも受け付けます。



◆集団がん検診・若年者健診

※検診日当日に伊賀市に住民登録のある人が対象です。

※同じ年度内に同じ種類の検診は受けられません。

※現在、すでに気になる症状がある人は、検診を受けずに医療機関を受診してください。

※検診の安全性確保、精度管理のため、問診票・検診結果(精密検査を含む)は市が管理することに同意の上、受診してください。

〈がん検診の自己負担金〉

※「75歳以上」の自己負担金に当てはまる人は、昭和24年4月1日以前に生まれた人です。

※次の人は自己負担金が表の金額と異なります。当てはまる人は予約時にお伝えいただき、検診日に受付で証明するものを提示してください。

- 65歳以上で障がいがあり、後期高齢者医療被保険者証をお持ちの人(75歳以上の自己負担金と同額)
- 生活保護受給証明書をお持ちの人(無料)

◆伊賀市国民健康保険 集団特定健康診査

集団がん検診と同時に予約・受診できます。日程は13ページの表をご覧ください。予約方法は上記のとおりです。

【対象者】
40～74歳(昭和23年9月1日～昭和59年3月31日生まれ)

【自己負担金】 無料

【健診内容】

身体測定、尿検査、血液検査、貧血検査、心電図、診察など

【持ち物】 受診券、健康保険証

※各会場とも定員になり次第締め切ります。

※受診券を紛失した場合は再発行します。ご連絡ください。

※7月以降に医療機関で国民健康保険特定健診、脳ドック・簡易人間ドックを受診した人は受診できません。

【問い合わせ】

保険年金課
☎22・96559
FAX 26・0151
✉hoken@city.iga.lg.jp



【問い合わせ】健康推進課

☎22・96553 FAX 22・96666
✉kenkuisushin@city.iga.lg.jp



9月20日(水)～26日(火)は動物愛護週間

人と動物が安全・快適に共生できる社会をめざして

今、人とペットを取り巻く環境や社会は大きな変化の中にあります。よりよい未来に向け、そしてお互いの関係をより良いものにするために、人の心に寄り添ってくれるペットのために私たちは何ができるでしょうか。

1

ペットを飼うということ

ペットの飼い主となったその時から、ペットの命は飼い主にゆだねられます。飼育するための正しい知識を学び、安全で快適な飼育環境を用意し、ペットが安心して健康で過ごすために最期まで責任をもって飼育しましょう。

★いのちのバトン～譲渡～

新しいペットの迎え方として「譲渡」という選択肢を選ぶ人が増えています。全国の自治体や動物保護団体で譲渡されるのは、迷子、災害や飼育放棄などの理由により飼い主を失ってしまった動物たちです。さまざまな事情を抱えている動物もいますが、より多くの人に考えてもらいたい選択肢のひとつです。



2

地域社会への気配り

ペットは社会の一員として暮らす存在であることから、地域社会に受け入れられるよう、しつけや社会化が必要です。世の中では、誰もが動物好きとは限りません。動物との共生社会をつくるため、マナーを守り、周囲の人にも配慮をしましょう。



3

世話ができる数を飼う

繁殖を望まない場合や、生まれた子すべての面倒がみられない場合は、不妊去勢手術をするなど繁殖制限を必ずしましょう。近年、自分で管理できる数以上に繁殖させてしまったり抱えてしまう「多頭飼育問題」が社会的な問題となっています。関係者が連携して地域で見守ることが大切です。

4

動物の活躍の場

さまざまな動物たちが、ペットとしてだけでなく社会の中で活躍しています。警察犬や災害救助犬のほか、盲導犬、介助犬は障がいのある人を助ける補助犬として活躍したり、病院や学校での動物介在活動や動物介在療法など、人の精神面をサポートすることで注目されています。

【問い合わせ】 ○伊賀保健所 ☎ 24-8080
○三重県動物愛護推進センター ☎ 059-253-1238
○生活環境課 ☎ 22-9624 FAX 22-9641 ✉ kankyouty@city.iga.lg.jp



災害時にペットを守る



災害が起きた時にペットを守るのは飼い主だけです。避難するときはペットと一緒に同行避難することが基本となりますので、人とペットの両方が安全に避難できるよう、普段から災害発生に備えておく必要があります。

ペットのために日ごろからできること

- 1. 避難用品・備蓄品の準備**
5日分以上のエサ・水・薬・ケージ・トイレ用品など
- 2. 健康管理**
各種ワクチン予防接種、ノミやダニなどの寄生虫の駆除など
- 3. 慣れるための社会化**
家族以外の人や動物、さまざまな音や物、ケージ
- 4. 所有者明示**
鑑札・注射済票・迷子札・マイクロチップ・首輪など
- 5. 避難場所の確認**
経路、所要時間、ペットの受け入れ状況など

避難所では動物が苦手な人やアレルギーを持っている人もいます。避難所で決められたルールを守り、周囲の人へ配慮をしましょう。



三重県動物愛護推進センター「あすまいる」
マスコットキャラクター き〜ぼう・つむぎちゃん

満点飼い主をめざして ★全項目チェックをめざそう！

- ペットの立場になってペットの気持ちを考えていますか。
- マナーやルールを守り、周辺環境や近隣住民に迷惑をかけていませんか。
- 迷子にならないよう迷子札やマイクロチップなどの所有者明示をしていますか。
- 逃げないように、戸締りやケージ・リード・首輪の点検を行っていますか。
- ペットに適した温度や湿度などの環境を保ち、飼育場所を清潔に保っていますか。
- ペットの年齢や健康状態にあわせて、運動や飼育環境に気を配っていますか。
- 不必要に増やさないために、不妊手術などの措置を行っていますか。
- ペットのワクチン接種や寄生虫の駆除なども含め、獣医師による定期健診をしていますか。
- 災害に備えて、ペットとの避難方法を確かめ、ペット用備蓄品を準備していますか。
- 万が一、飼えなくなった時のことを考えていますか。
- 飼い始めたころのペットへの気持ちや愛情は今も持ち続けていますか。

犬や猫への「マイクロチップ装着」と「情報の登録」の義務化

マイクロチップは、小さな電子標識器具で、動物の皮下に埋め込まれます。令和4年6月1日から販売される犬や猫へのマイクロチップの装着・登録が義務付けられました。マイクロチップが装着された犬や猫を家族に迎え入れた飼い主は、住所・氏名・電話番号をご自身の情報へ変更する必要があります。変更の手続きはパソコンやスマートフォンからオンラインで行えます。

皆さんの力作をお待ちしています 市展いがに出品しませんか

【とぎ】
令和6年3月20日(水)～24日(日)
午前10時～午後6時
※最終日は午後4時まで

伊賀市文化会館
(西明寺3240-12)

【部門】

- 絵画
- 彫塑工芸
- 写真
- 書

【展示作品】

- 公募作品のうち、審査の結果、入賞または入選した作品
- 無鑑査の作品
- 審査員(現・旧)の作品
- 運営委員(現・旧)の作品



◆作品搬入

【とぎ】 令和6年3月4日(月)
正午～午後7時

【とぎ】 伊賀市文化会館

◆公開審査会

【とぎ】 令和6年3月6日(水)
午後1時～(全部門)

【とぎ】 伊賀市文化会館

◆表彰式

【とぎ】 令和6年3月24日(日)
午後1時30分～

【とぎ】

伊賀市文化会館 さまざまホール

◆作品講評会

審査員による作品講評会を開催します。(参加自由)

【とぎ】 令和6年3月24日(日)

午後4時～

【とぎ】

伊賀市文化会館 各展示会場

※会期中は審査員による作品講評を映像で会場内に放映します。

【出品者資格】

平成20年4月1日以前に生まれた、市内在住・在勤・在学・出身の人

【出品規定】

○ 出品点数は、1部門につき1人1点です。

農業委員・農地利用最適化推進委員を紹介しします

農業委員と農地利用最適化推進委員の任期は、令和8年7月19日までの3年間です。農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り、農地などの利用最適化の推進にご尽力いただきます。(敬称略)

◆農業委員

- 【小田・久米・上野】 玉岡則夫
- 【長田・花之木】 門口哲
- 【新居・三田・諏訪】 森田陽子
- 【府中】 高田満
- 【中瀬】 西田富司夫
- 【友生】 大田信昭
- 【依那古】 藤室明生
- 【比自岐・神戸】 木下賢一
- 【猪田】 川口一夫
- 【古山・花垣】 中原 宏
- 【柘植】 福岡健一
- 【西柘植】 田中康俊
- 【王生野】 池町安雅
- 【島ヶ原】 坂本榮一
- 【河合・丸柱】 福地和幸
- 【鞆田】 山本好啓
- 【玉滝】 稲森義隆
- 【山田】 西尾長彦
- 【布引・阿波】 橋本隆
- 【阿保・上津】 折戸八郎
- 【種生・矢持】 喜多正展
- 【伊賀ふるさと農協】
- 西口育男・喜久永富美代
- 【公募】 森下光子

◆推進委員

- 【小田】 藤下政信
- 【久米】 福田秀次
- 【上野】 柳島正一
- 【長田】 前川玉雄・狭間信
- 【花之木】 松谷康彦・廣田俊彦
- 【新居】 岡祐司・吉藤圭作
- 【三田】 山本憲一
- 【諏訪】 城下一博
- 【府中】 坂口慎一・松山智
- 【中瀬】 門脇昌弘・東明博
- 【友生】 島地宗治・市井清己
- 【依那古】 柿本博美・中住武敏
- 【比自岐】 田中勇・森本壽一
- 【神戸】 森崎幹生
- 【猪田】 中出文夫・辻岡孝男
- 【古山】 小倉和久・杉森雄一
- 【花垣】 西田育郎・中井秀幸
- 【柘植】
- 澤井清敏・中島義文・辻本健男
- 【西柘植】 松島秀生・久保善寛
- 【王生野】 上野覚・福西重嗣
- 【島ヶ原】 南博人・川下裕史
- 【河合】 田中弘毅・北川敏匡
- 【丸柱】 森岡一夫
- 【鞆田】 松村保宏・栗原信昭
- 【玉滝】 藤森知一・谷本真
- 【山田】
- 宮崎孝志・宮本長生・川口貞之
- 【布引】 中川博昭
- 【阿波】 曾我隆清・永岡清
- 【阿保】 吉岡輝一・平岡慎司
- 【上津】 森本吉光
- 【種生】 長谷川和美・立山繁昌
- 【矢持】 坂本武己

【問い合わせ】 農業委員会事務局 ☎ 22-9720 FAX 22-9715 ✉ nougyou@city.iga.lg.jp



○ 自己の製作した未発表の作品に限ります。

○ 他の公募展に入賞・入選した作品や、新聞・雑誌などに掲載された作品などは発表作品とみなします。ただしグループ展・個展の出展作品は未発表とみなします。

○ 著作権や肖像権などに配慮し、出品者の責任で出品してください。

○ 規定以外の作品は受け付けできません。

※ 展示方法については主催者に一任していただきます。

【出品料】

- 1部門1000円(高校生無料)

※ 出品料は高校生の作品出展を支援する備品購入や未来の出展につなげる若年層向けのワークショップ開催などに活用します。

※ 作品搬入時にお支払いください。

※ 選外の場合でも返金はしません。

【申込方法】 募集要項で作品の大きさ・額装などの規定を確認の上、出品してください。



◆募集要項・出品申込書配布場所

- 文化振興課(芭蕉翁記念館内)
- 生涯学習課(ハイトピア伊賀5階)
- 本庁舎1階総合受付
- 各支所・各地区市民センター
- 上野図書館
- 伊賀市文化会館
- あやま文化センター
- 青山ホール

※ 募集要項は市ホームページからもダウンロードできます。

【問い合わせ】
○ 文化振興課
☎ 22・9621 FAX 22・9619 ✉ bunka@city.iga.lg.jp
○ 伊賀市文化都市協会
☎ 22・0511 FAX 22・0512



家庭から食品ロスを減らそう

◆食品ロスとは？

日本では、食べられるのに捨てられる食品(食品ロス)の量が年間523万トン*と推計され、日本の人口1人あたり毎日おにぎり1個(114グラム)を捨てている計算になります。大量の食品ロスが発生することで、さまざまな影響や問題があります。食品ロスを含めた多くのごみを廃棄するため、ごみ処理に多額のコストが必要で、また可燃ごみとして燃やす灰の埋め立てなどによる環境負荷が考えられます。

* 令和3年度推計(農林水産省・環境省)

(政府広報オンライン)「今日からできる!家庭でできる食品ロス削減」から抜粋

◆家庭でできることから始めましょう

食品ロスを減らすコツは、買い物をするときは「必要なだけ買う」、料理をするときは「食べきれぬ量を作る」、食事をするときは「おいしく食べきる」ことです。

- 調理解
- 調理
- 残っている食材から使いきめる。
- 食べきれぬ量をつくる。
- 野菜や果物の皮は厚むきしない。



【問い合わせ】 廃棄物対策課 ☎ 20-1050 FAX 20-2575 ✉ haikibutsu@city.iga.lg.jp





「日本遺産」認定のまち 忍びの里伊賀・甲賀

【問い合わせ】

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事務局
伊賀市観光戦略課 ☎0595-22-9670
甲賀市観光企画推進課 ☎0748-69-2190



◆ 忍者は黒い衣装を着ていたの？

忍者と言えば「黒い装束」を思い浮かべるかもしれませんが、実際は違っていたようです。

忍者の役目の一つは、闇夜に忍び込んで敵方の秘密を探ったり、たくらみを暴くこと。そのため目立たずに行動する必要がありました。

忍術伝書の『正忍記』には、濃紺色や柿渋色（柿の熟した色）の衣装を着ていたことが記されています。これらは元々、野良仕事や農作業に着ていた衣装で、濃紺色や柿渋色の染料には虫やマムシよけの効果もありました。

実際の忍者の装束に関する具体的な資料は少なく、多くは創作やフィクションの影響によるものがあります。私たちのイメージに欠かせない黒い装束が定着したのは、実は歌舞伎などの江戸時代の演劇からで、怪しい姿をしていたほうがわかりやすかったためと言われています。その後、戦後の忍者マンガや映画により、黒い装束は忍者のユニフォームというべきものになりました。

甲賀流リアル忍者館展示

日本遺産ポータルサイト



伊賀流忍者博物館展示

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

「セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森 2023」

「作品と作家に出会う」をテーマに、滋賀県内で活躍する作家が集まり、作品の展示販売を行います。作品を制作した作家の皆さんとの交流を楽しみながら、さまざまな作品に出会えます。ぜひ、お越しください。

【とき】 9月16日(出)～18日(月・祝)
午前9時～午後5時
(最終日は午後4時30分まで)

※小雨決行(台風などで3日間開催できない場合は11月に延期)

【ところ】 滋賀県立陶芸の森 太陽の広場

【アクセス】

信楽高原鉄道「信楽駅」下車 徒歩20分
※園内の駐車場が混み合うため、公共交通機関の利用をおすすめします。

※午前8時までは太陽の広場に入場できません。
【問い合わせ】 滋賀県立陶芸の森
☎0748-83-0909



亀山市

「亀山7座」に挑戦！ ～完登バッジ・完登証をゲットしよう～

亀山市では、市域の山々の素晴らしさを多くの人に知ってもらい、新たな観光資源として次世代へ継承するため、標高約700メートル前後の代表的な7つの山々を「亀山7座」と選定し、登山イベントなどの取り組みを行っています。

本年度は、亀山7座すべてに登頂した人に「完登バッジ」と「完登証」を交付しています。ぜひこの機会に、亀山7座の完登に挑戦してみてください。完登バッジの申請方法などについて、詳しくは市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク事務局(商工観光課観光・地域ブランドグループ)
☎0595-84-5074



伊賀城和 (伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース



伊賀市 | 笠置町 | 山城南 | 山添村

【問い合わせ】 総合政策課

☎22-9620 FAX 22-9672
✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



第2期共生ビジョンを紹介します

◆ 共生ビジョンとは

定住自立圏は、圏域構成市町村がお互いに役割を分担し、連携・協力して、圏域に暮らすすべての住民が幸せを実感できる地域にするとともに、地方圏への定住を促進する取り組みです。

共生ビジョンは、中長期的な観点で、圏域がめざす将来像とその実現のために必要な具体的な取り組みなどをまとめたものです。第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョンは令和4年度から令和8年度までを計画期間とし、圏域市町村のより一層の連帯感の醸成をめざし取り組みを進めます。

現在

2017 平成29年	2018 平成30年	2019 令和元年	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年	2025 令和7年	2026 令和8年
第1期共生ビジョン					第2期共生ビジョン				

◆ 圏域の将来像

“水と歴史でつながる圏域” 伊賀・山城南・東大和圏域

圏域でつながり、
暮らしの安心を支える

地域で暮らすための生活基盤の確保・充実を図り、住み続けたい地域で暮らせる圏域をめざします。新たな日常、新しい生活様式を意識したデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するとともに、持続可能な開発目標(SDGs)を意識した住み良い圏域をめざします。

活発な交流により、
賑わいを創出する

圏域市町村がもつ地域資源、また地域に暮らす人材の交流などにより、圏域全体で多様な資源の魅力高め、賑わいの創出をめざします。特に、幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド(圏域の誇り・自尊心)の醸成をめざします。

◆ 具体的な取り組み

生活機能の強化

【医療、健康・福祉、教育、産業振興、環境、防災】

- 一次・二次救急医療体制を維持するための支援や、救急医療、応急処置などに関する相談に24時間対応する電話相談事業の実施事業地域を維持します。
- タブレットなどのICTを活用し、児童生徒の交流を行います。

結びつきやネットワークの強化

【公共交通、ICT活用、交通インフラ、地産地消、内外交流】

- 通勤、通学、買い物、通院に適した公共交通ネットワークの構築をめざします。
- 圏域の魅力を相互に発信し、新たな圏域ファン(関係人口)を創出します。
- 圏域の将来を担う若者世代の交流を進めます。

圏域マネジメント能力の強化

【人材育成・交流、人材確保】

- 圏域内の職員の能力や資質向上を図るため、合同で研修会などを実施します。

※その他、具体的な取り組みについては、市ホームページをご覧ください。

10月の子育てコーナー

赤ちゃんの健診と相談

健診・相談名	健診・相談日	時間	場所	対象・内容など
1歳6カ月児健診	17日(火)	13:00～14:30	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	身体計測、内科・歯科健診、歯の相談、栄養相談、育児相談など ※対象児には、1歳6カ月児健診は1歳7カ月頃、3歳児健診は3歳7カ月頃までに通知します。母子健康手帳をご持参ください。
3歳児健診 (3歳6カ月児)	5日(木)	13:00～14:30	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	
	26日(木)			
乳幼児相談	2日(月)	9:30～11:00	いがまち保健福祉センター	育児相談・栄養相談 ※詳しくは市ホームページをご覧ください。 ※母子健康手帳をご持参ください。 【問い合わせ】 健康推進課 ☎ 22-9653 地域包括支援センター 東部サテライト ☎ 45-1016 南部サテライト ☎ 52-2715
	18日(火)		青山子育て支援センター	
	20日(金)		伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	
	24日(火)		伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	



キラキラ・キラキラほし

子育て包括支援センター「キラキラ」「キラキラほし」は、未就園児とその保護者を対象に、親子で体を動かしたりふれあい遊びなどをする年間登録制の教室です。

この日は3つのクラスの合同開催で、はじめに大きな絵本の読み聞かせを行いました。その後、読み聞かせの絵本にちなんだ遊びや輪投げなどのほか、親子で記念写真の撮影をしました。最後に音楽に合わせて手遊びや体操をしたり走ったりしながら、元気に体を動かして遊んでいる様子でした。

子育て支援のための教室・遊び場の開放

イベント	対象	日程	時間	内容・申込など
●子育て包括支援センター ☎ 22-9665 開放日：月～金曜日、第3土曜日 9:00～17:00 第4日曜日 9:00～12:00				
土曜ふれあい広場	未就学児	7日(土)	10:00～	親子ふれあひあそび ※予約不要
食育教室もぐもぐ	1歳6カ月～	13日(金)	10:00～	親子で楽しむ食育(定員10組) ※予約受付：9/29(金) 9:00～
公開講座	未就学児の親子	24日(火)	10:00～	ベビー・キッズダンス(定員40人) 場所：青山福祉センター 持ち物：抱っこ紐(使っている人) ※予約受付：10/10(火) 9:00～
キラキラぶち	2022年4～10月生まれ	25日(水)	10:00～	からだ育て体操(定員10組) ※予約受付：10/18(水) 9:00～
ぴよぴよBaby	2～6カ月	27日(金)	10:00～	音楽会(定員10組) ※予約受付：10/20(金) 9:00～
はいはい・たっち	7～11カ月	27日(金)	13:30～	赤ちゃん体操(定員10組) ※予約受付：10/20(金) 9:00～
●いがまち子育て支援センター ☎ 45-1015 開放日：月～金曜日 9:00～17:00				
らぶらぶひろば	未就学児	6日(金)・13日(金)・20日(金)	9:00～	大型遊具遊び
赤ちゃんひろばミルキィ	2023.1.1以降 満3カ月～	18日(水)	10:30～	だっことおんぶのなんでも相談会(定員15組) ※予約受付：10/2(月) 9:00～
おはなしひろば“わくわく”	未就学児	19日(木)	10:30～	絵本読み聞かせ(定員10組) ※予約受付：10/2(月) 9:00～
らぶらぶひろば ハロウィンパーティー	未就学児	27日(金)	10:15～	ハロウィンパーティー(定員20組) ※予約受付：10/16(月) 9:00～
●島ヶ原子育て支援センター ☎ 59-9060 開放日：月～金曜日 9:00～17:00				
わくわくひろば	未就学児と 保護者	16日(月)	10:00～	絵本が自然とすきになるお話(定員15組) ※予約受付：10/10(火) 9:00～
●あやま子育て支援センター ☎ 43-2166 開放日：火～土曜日 9:00～17:00				
親子でリフレッシュ	未就学児	4日(水)	10:00～	アイシングクッキーオーナメント作り(定員8組) 材料費500円 ※予約受付：9/20(水) 9:00～
元気っ子ひろば	未就学児(満1歳～)	13日(金)	10:00～	親子体操(定員12組) ※予約受付：9/29(金) 9:00～
みんなあつまれ!	未就学児	17日(火)	10:00～	絵本を楽しもう(定員6組) ※予約受付：10/3(火) 9:00～

※各教室の開催時間は1時間～1時間30分程度です。持ち物など、詳しくは各支援センターへお問い合わせください。

イベント	対象	日程	時間	内容・申込など
●大山田子育て支援センター ☎ 47-0088 開放日：月～金曜日 9:00～17:00				
おたのしみひろば	未就学児	2日(月)	10:00～	げんきこあつまれ(定員10組) ※予約受付：9/22(金) 9:00～
えほんとせいさくのひろば	未就学児	20日(金)	10:00～	読み聞かせ・カレンダー作り(定員10組) ※予約受付：10/13(金) 9:00～
のびっこひろば	未就学児	23日(月)	10:00～	のびっこ教室(定員10組) ※予約受付：10/16(月) 9:00～
●青山子育て支援センター ☎ 53-0711 開放日：火～土曜日 9:00～17:00				
おはなし会	未就学児	4日(水)	10:30～	絵本の読み聞かせ
おともだちあつまれ!	0～1歳児	12日(木)	10:30～	手遊びとからだ遊び
	2歳～	19日(水)		
●にんにんパーク ☎ 22-9665 開放日：第2日曜日 9:00～14:00				
子育て相談・からだそだて事業	未就学児と家族	8日(日)	10:00～	10:00～11:30 公園の秋を探そうお散歩ピンゴの巻 12:00～14:00 相談の巻
●曙保育園「すくすくらんど」 ☎ 21-7393 開放日：月～金曜日 10:00～16:00				
すくすくひろば	未就園児	2日(月)・16日(月)・ 23日(月)・30日(月)	10:00～	秋の園であそぼう
本とおもちゃルーム「ぐるんぱ」	未就園児	4日(水)・11日(水)・ 12日(木)・13日(金)・ 18日(水)・25日(水)	10:00～	絵本とおもちゃルーム 11～13日は「みんなで、えほん展&あそぼうウィーク」 たくさんの絵本を見たり、あそびのコーナーで遊んだりできます。
●森川病院「エンジェル」 ☎ 21-2425 開放日：月・水・金・土・日曜日 12:00～17:00				
さあ始めよう離乳食教室	4～5カ月の親子	4日(水)	14:00～	定員8人 ※予約制 離乳食の始め方
赤ちゃんなんでも相談・ はついく測定		23日(月)	13:30～	13:30～15:00の間の都合のつく時間 にお越しください。
離乳食お悩み相談室	6カ月以上の親子	25日(水)	10:00～	定員3人 ※予約制 離乳食を開始している人

【問い合わせ】 子育て包括支援センター (ハイトピア伊賀 4階)
☎ 22-9665 FAX 22-9666 ✉ kosodate@city.iga.lg.jp



上野図書館 調べ学習

7月29日(土)、上野図書館で「調べ学習」を開催しました。
「忍者について調べよう～忍者レポートの作成～」をテーマに、伊賀流忍者博物館を見学した後、上野図書館で疑問に思ったことや、感じたことを図書館の本で調べて、忍者レポートを作成しました。
参加した子どもたちは、忍者博物館で展示されているものの中から、興味を持ったことについて書かれている本を何冊も調べながらレポートを完成させました。



1. 伊賀流忍者博物館を見学する参加者
2. 気になったことを図書館の本で調べました。
3. それぞれ自由にレポートを作る参加者
4. 最後に調べたことを発表しました。

夜のとしょかん探検

8月1日(火)、上野図書館で「夜のとしょかん探検」を開催しました。
ストーリーテリングのおはなし会や絵本の読み聞かせなどのほか、図書の分類番号や本の並び方を学んで本を探したり、館内をまわるスタンプラリーなどを行いました。
参加した親子は、普段は入ることができない書庫やライトアップされた通路などを巡り、夜の図書館の雰囲気を楽しんでいる様子でした。



1. 図書の分類方法を学びました。
2. 指令書に書かれた分類番号から、親子で協力して本を探しました。
3. 「おはなしコットン」による夜のおはなし会の様子
4. 普段は入ることができない書庫を探検する参加者



住民自治協議会研修会

7月24日(月)、ゆめぼりすセンターで「住民自治協議会研修会」を開催しました。
各地区の住民自治協議会の役員などを対象に「住民に“必要とされる”まちづくり」と題して講演が行われ、地域住民の減少や高齢化が加速する中、どのようなまちづくりが必要かを学びました。他の地域で実際に取り組まれている例なども紹介され、参加者は真剣に学んでいる様子でした。



1. これからの社会に必要なまちづくりについて、講師の岩崎恭典さんが説明しました。
2. 多くの参加者が学びを深めていました。

「どうする家康」パブリックビューイング

7月30日(日)、柘植地区市民センターでNHK大河ドラマ「どうする家康」パブリックビューイング in 伊賀市を開催しました。
この日は、第29回「伊賀を越えろ！」の放送回で、「神君伊賀越え」が取り上げられることを受け、伊賀越えに関する歴史講座も行い、改めて伊賀の歴史と郷土に関心を持っていただく機会となりました。



1. 岡本市長をはじめ観光関係者や市民ら約90人が鑑賞しました。
2. 「家康の伊賀越えと柘植」と題した講座を行いました。

未来への約束を、公正証書が守ります!

終活 ①遺言、②財産管理等委任契約、③任意後見契約、④死後事務委任契約、⑤尊厳死宣言

離婚 ①養育費支払、②財産分与、③年金分割合意など

伊賀上野公証役場 伊賀上野公証役場 検索

三重県伊賀市上野丸之内28番地 ラフォーレビル3階
電話0595-23-6549(上野市駅から徒歩2分)

早い! おいしい! **ガス炊飯器で新米を炊こう!**

おいしいご飯の秘密は **直火にあり!**

●強火と火加減
弱火で始まり一気に強火で沸騰まで。絶妙の火加減だからおいしい!

●包み込む
火の力が対流を起こし、釜全体を高温で包み込むからおいしい!

●短時間
なんてたって、火で炊くから早い!

あなたとともに、未来へ — **上野ガス** UENOGAS

伊賀市上野茅町2706 電話0595-21-3611

LINE公式アカウント 友だち募集中

https://www.ueno-gas.co.jp

22 06036

【問い合わせ】 秘書広報課

有料広告を募集します

広報いがへの広告を募集しています。広報いがは市内の各戸へ配布するほか、市ホームページに掲載します。

【発行部数】 毎号約3万5000部

【掲載料】 1枠・2万円 (縦5cm×横9cm)

【申込期限】 発行日2カ月前

上野天神 城下町

三重県伊賀市上野新町二七五ノ二
電話 〇五九五(一)〇六一五

お祝いに 御赤飯

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。

※**㊦**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

子育て・教育

奨学金を利用しませんか



6月に募集した伊賀市奨学金を申請できなかった人に再度ご案内します。市内の高校生・大学生などに、返済不要の給付型奨学金を4月分から支給します。

【申込期間】 9月11日(月)～29日(金)

【対象者】 次のすべてに当てはまる人
○本人・保護者とも市内に住所がある人(修学のため住所異動した場合を除く。)

○高等学校・専門学校・大学などに在学する人

○申請者と生計を同一とする世帯員全員が令和5年度住民税所得割額が非課税の世帯(均等割に課税額があっても所得割が0円の場合は対象)

※今年度すでに伊賀市が支給する奨学金の受給が決定している人は対象となりません。

【支給額】

○高等学校・高等専修学校など：72,000円/年

○大学・短期大学やそれに該当する専門学校など

国公立：72,000円/年

私立：84,000円/年

【申込先・問い合わせ】 教育総務課
☎ 22-9644 FAX 22-9647

里親について考えてみませんか



さまざまな事情で親と離れて暮らす子どもたちを支援する里親制度について、一緒に考えませんか。

◆**パネル展示**

【とき】 9月27日(水)～29日(金)
【ところ】 本庁舎 1階市民スペース

◆**里親なんでも相談所ほっこりによる個別相談**

【とき】 9月27日(水)～29日(金)
午前10時～午後3時

【ところ】 本庁舎 1階市民スペース

【問い合わせ】 こども未来課
☎ 22-9609 FAX 22-9646

三重県障がい者芸術文化祭に参加しませんか



「三重県障がい者芸術文化祭」は、地域で障がいのある人の活躍を広げるための文化祭です。今年度は、鳥羽市民体育館で12月1日(金)・2日(土)に開催されます。

【募集内容】

○**作品**：絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸(版画・彫刻含む)、貼り絵・CG、俳句

○**ステージ発表**：歌唱・楽器演奏・演劇・ダンスなど

○**サブタイトル**：障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内

※応募資格や応募方法など、詳しくは三重県障がい者芸術文化祭ホームページをご覧ください。

【募集期限】 9月30日(土) ※必着

【応募先・問い合わせ】 三重県障がい者芸術文化祭実行委員会事務局

((公社)三重県障害者団体連合会)

☎ 059-232-6803
FAX 059-231-7182

✉ info@mie-asc.jp

【問い合わせ】 障がい福祉課

☎ 22-9657 FAX 22-9662

✉ shougai@city.iga.lg.jp

自殺予防週間



9月10日は自殺予防デー、毎年9月10日からの1週間は自殺予防週間です。悩みを抱えた人が必要な情報や支援を受けられるよう啓発を実施します。

【とき】 9月11日(月)～15日(金)

※開所時間内

【ところ】 ハイトピア伊賀 1階ロビー

悩みの相談窓口を案内する啓発チラシやポケットティッシュを設置します。

【問い合わせ】 健康推進課

☎ 22-9653 FAX 22-9666

エンディングノートを残しませんか



終活支援としてエンディングノートを配布しています。エンディングノートとは、最期まで自身の尊厳を守るために、自身が希望する生き方や今後の人生、医療・介護に関する意思決定などについて、家族や大切な人に伝えたい内容を記すノートのことです。

自分らしく生きるためのツールのひとつとして活用してみませんか。



【配布場所】 地域包括支援センター・東部サテライト・南部サテライト
※市ホームページからもダウンロードできます。

※数に限りがありますので、なくなり次第終了します。

【問い合わせ】 地域包括支援センター
☎ 26-1521 FAX 24-7511

伊賀市役所 本庁舎 9月のアート情報

本庁舎で下記の展示を行っています

◆**4階市民ミニギャラリー**

○駒田 直哉 写真展

◆**1階玄関横**

○伊賀市寄贈作品展

絵画「忍びの思いが」

上田 保隆



○いけばな(伊賀華道協会)

※都合により展示物が変わる場合があります。

※観覧時間は市役所の開庁時間に準じます。

市民ミニギャラリー展示作品募集中

【問い合わせ】

美術博物館建設準備室

☎ 41-0400
FAX 22-9694



いがオレンジカフェ(認知症カフェ)



【とき】 9月12日(火)
午前10時～正午

※午前10時30分以降は、簡単な体操やゲームを行います。

※時間内の出入りは自由です。

【ところ】 ハイトピア伊賀 4階ミーティングルーム

【問い合わせ】 地域包括支援センター
☎ 26-1521 FAX 24-7511

脳の健康チェック(もの忘れ相談)



もの忘れを早期に発見するため、もの忘れ相談プログラムによる脳の健康チェックを行います。保健師による相談もあります。

※過去に受けたことがある人は、6カ月以上の期間をあけて受けることをお勧めします。

【とき】 9月25日(月)
受付：午前10時～11時

【ところ】 ハイトピア伊賀 4階多目的室

【問い合わせ】 地域包括支援センター
☎ 26-1521 FAX 24-7511

認知症の人と家族の会「伊賀地域つどい・交流会」



【とき】 9月26日(火)
午後1時30分～4時

【ところ】 名張市役所 会議室302
(名張市鴻之台1番町1)

【料金】 200円(認知症の人は無料。家族の会会員は100円)

※認知症の人が参加する場合は、事前に連絡してください。

【問い合わせ】 地域包括支援センター 東部サテライト

☎ 45-1016 FAX 45-1055

消費生活相談窓口

悪質商法や契約トラブルなど消費生活で困った時は、ひとりで悩まず、消費者ホットライン ☎188 まで気軽にご相談ください。

健康・福祉

「おもいやり駐車場」の利用には利用証が必要です



公共施設や商業施設などに設置された「おもいやり駐車場」は、障がいのある人や要介護高齢者、妊産婦やけが人など歩行が困難な人で、三重県が発行する「おもいやり駐車場利用証」を持っている人が利用できます。

「入口に近いから」「空いているから」などの理由で、利用証のない人が駐車してはいけません。

また、おもいやり駐車場の区画数には限りがあります。利用証を持っている人も、体調が良い時や、同乗者の介助を受けられる時など、歩行や乗降に支障がない場合は、他の利用者のためにおゆずりください。

「おもいやり」と「ゆずりあい」の心で、おもいやり駐車場の適正な利用にご協力ください。

◆**利用証の申請**

障がい福祉課、各支所(上野支所を除く。)、健康推進課(妊産婦のみ)、伊賀保健所、県庁(地域福祉課)で受け付けています。申請手続きに不備がなければ、その場で交付することができます。

※三重県ホームページから電子申請ができます。



【申込先・問い合わせ】

○障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp

○健康推進課(妊産婦のみ)

☎ 22-9653 FAX 22-9666

がん患者と家族の方のおしゃべりサロンin伊賀



【とき】 9月7日(木)
午後1時30分～3時30分

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階学習室2

【対象者】 がん患者・家族など

【申込方法】 電話

【申込先・問い合わせ】 三重県がん相談支援センター
☎ 059-223-1616
FAX 059-202-5911



新型コロナウイルスに関するお知らせ

新型コロナワクチン 秋開始接種



9月20日(火)から新型コロナワクチン秋開始接種を実施します。

【対象者】 初回(1・2回目)接種が完了した、接種可能なすべての年齢の人
※前回接種から3カ月以上経過する必要があります。

【接種費用】 無料

【接種間隔・回数】 前回接種から3カ月以上経過し、期間中に1回のみ

【使用するワクチン】 オミクロン株 XBB.1.5 対応ワクチン

【接種券について】 前回送付した接種券でワクチンを接種し、前回接種から3カ月以上経過した人へ、9月中旬以降順次発送します。送付スケジュールは、決まり次第お知らせします。

※3回目以降未接種で、現在接種券をお持ちの方は、そちらを使用して接種ができます。新たな接種券の送付はありません。

最新の詳しい情報は、市ホームページでお知らせします。

【問い合わせ】 健康推進課予防接種係
☎ 41-1550 FAX 22-9666



毎月1問、伊賀に関するクイズを掲載します。

問題 () 時代に、伊賀地域は大地震によって死者595人に及ぶ大きな被害を受けました。

- ①奈良
- ②平安
- ③室町
- ④江戸

(答えは31ページ)

※**申**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

ミュージアム青山讃頌舎 特別展

◆中野英一遺作展～魂の相剋～

終戦からほどなくして抽象絵画をはじめ、世界を席卷しつつあった抽象表現主義などに強い関心を持ちながら、単に流行を追うのではなく、自分だけの世界を表現しようと描き続けた中野英一の作品をこの機会にぜひご覧ください。



【と き】 9月8日(金)～10月9日(月・祝)
午前10時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)
※火曜日休館
【ところ】 ミュージアム青山讃頌舎
【料 金】 300円 (高校生以下無料)

◆茶室「晴樹庵」で楽しむ秋の呈茶会

【と き】 9月17日(日)・24日(日)
①午前10時 ②午前11時
③午後1時 ④午後2時
【ところ】 青山讃頌舎 茶室
【定 員】 各回8人 ※要予約
【料 金】 400円
【申込先・問い合わせ】 青山ホール
☎ 52-1109

庭木の整枝剪定講習会^申

【と き】 10月24日(火)
午前10時～午後3時
(受付：午前9時30分)
※雨天時は10月26日(休)
【ところ】 上野南公園
【講師】 上川原緑園
【持ち物】 弁当・飲み物・剪定用具(木バサミ・剪定バサミ・刈込みバサミなど)
【申込方法】 住所・氏名・電話番号を下記まで
【申込期限】 9月22日(金) 午後5時15分
【申込先・問い合わせ】 都市計画課
☎ 41-0290 FAX 22-9734

第41回 伊賀焼陶器まつり

伊賀の窯元・作家が集まり、展示や販売、実演などを行います。
【と き】 9月22日(金)～24日(日)
午前9時～午後5時
(最終日のみ午後4時まで)
【ところ】 あやまふれあい公園 すば一く阿山
【問い合わせ】 伊賀焼陶器まつり実行委員会
(伊賀焼伝統産業会館)
☎ 44-1701 FAX 44-1701

秋の寄せ植え教室^申

秋の花をご家庭に飾る「寄せ植え」を作りませんか。
【と き】 9月20日(水)
午後2時～3時30分
【ところ】 伊賀市シルバーワークプラザ 2階
【対象者】 市内在住の60歳以上の人
【料 金】 1,500円 (材料費)
【定 員】 25人
※申込多数の場合は抽選
【申込方法】 住所・氏名・年齢・電話番号を下記まで
【申込期間】 9月4日(月)～15日(金)
【申込先・問い合わせ】 (公財)伊賀市シルバー人材センター
☎ 24-5800 FAX 23-2040

公園管理のしごと(剪定)体験^申

公園管理に係る剪定の仕事を体験しませんか。
【と き】 10月13日(金)
午前9時～正午
【ところ】 伊賀市シルバーワークプラザ
【対象者】 市内在住の60歳以上の人
【定 員】 8人
※申込多数の場合は抽選
【申込方法】 住所・氏名・年齢・電話番号を下記まで
【申込期間】 9月4日(月)～29日(金)
【申込先・問い合わせ】 (公財)伊賀市シルバー人材センター
☎ 24-5800 FAX 23-2040

お薬手帳を1冊にまとめましょう
飲んでる薬や治療歴の管理ができて安心
複数のお薬手帳を持っている人は、1冊にまとめて適切な管理を行いましょう。
【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

いがまち人権センター 第2回解放講座

【と き】 9月15日(金)
午後7時30分～9時
【ところ】 いがまち人権センター ホール
※オンライン同時開催
【内 容】
○演題：(仮題) 部落情報のネット拡散の実態
○講師：近畿大学人権問題研究所 主任教授 北口 末広さん
【問い合わせ】 いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

第3回おおよまだ人権大学 講座 in ライトピア^申

【と き】 9月26日(火)
午後7時30分～9時
【ところ】 ライトピアおおよまだ ホール
【内 容】
○演題：子どもたちの人権を「守り」「育む」
○講師：常磐会短期大学教授 卜田 真一郎さん
【定 員】 80人程度
【申込方法】 当日までに下記まで
【申込先・問い合わせ】 ライトピアおおよまだ
☎ 47-1160 FAX 47-1162
✉ raitopia@city.iga.lg.jp

土地無料相談会

地価・地代・家賃・土地利用について相談できます。詳しくはお問い合わせください。
【と き】 10月2日(月)
午後1時～4時
【ところ】 本庁舎 4階会議室 404
【相談員】 (一社)三重県不動産鑑定士協会所属の不動産鑑定士
【問い合わせ】 (一社)三重県不動産鑑定士協会
☎ 059-229-3671

イベント・講座

人権啓発パネル展

◆人権政策課 人権啓発パネル展
「部落差別(同和問題)Ⅱ」
「感染症と人権」
【と き】 9月1日(金)～28日(木)
【ところ】 本庁舎 3階
「部落差別解消推進法」
【と き】 9月4日(月)～15日(金)
【ところ】 西柘植地区市民センター (旧ふるさと会館いが)
「福島差別」
【と き】 9月4日(月)～15日(金)
【ところ】 阿山支所 1階ロビー
「子どもの人権Ⅱ」
【と き】 9月4日(月)～15日(金)
【ところ】 青山複合施設 アオーネ ロビー
【問い合わせ】 人権政策課
☎ 22-9683 FAX 22-9641

◆寺田市民館 じんけんパネル展 「子ども虐待問題について考える」

【と き】 9月1日(金)～28日(木)
※開館延長日 12日(火)、19日(火)
【ところ】 寺田教育集会所 第1学習室
【問い合わせ】 寺田市民館
☎/FAX 23-8728

◆いがまち人権パネル展 「インターネットと人権」

【と き】 9月5日(火)～21日(休)
※開館延長日 7日(休)、14日(休)、21日(休)
【ところ】 いがまち人権センター
【問い合わせ】 いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

◆生涯学習課人権パネル展 「伊賀市民意識調査から見えるもの」

【と き】 9月4日(月)～28日(休)
【ところ】 ハイトピア伊賀 5階ギャラリー
【問い合わせ】 生涯学習課
☎ 22-9679 FAX 22-9692

離乳食教室^申

【と き】 10月4日(水)
○前期：午後1時30分～3時
○後期：午前10時～11時30分
【ところ】 ハイトピア伊賀 4階多目的室
【内 容】
○前期：離乳食前期(1～2回食)の話・離乳食の調理
○後期：離乳食後期(3回食)の話・離乳食の調理
【定 員】 いずれも先着6人
【持ち物】 母子健康手帳・筆記用具・エプロン・三角巾・手拭きタオル・託児に必要なおもちゃ・オムツなど
【申込方法】 住所・参加する保護者と子どもの氏名・生年月日・電話番号・託児希望の有無を下記まで
【申込受付開始日】 9月14日(休)
【申込先・問い合わせ】 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

上野天神祭、学びのウォーク^申

◆子どもと保護者の体験教室
2016年11月にユネスコ無形文化遺産に登録された「上野天神祭のダンジリ行事」。鬼行列についての学習や、だんじりの説明・体験乗車をします。だんじりクイズもお楽しみに！
【と き】 10月21日(土)
午後1時～3時30分
【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室、上野三之町・上野中町
【対象者】 市内の小学生とその保護者
【定 員】 10組
※申込多数の場合は抽選
【申込方法】 住所、氏名、年齢、学年、電話番号を下記まで。市ホームページからも申し込みできます。
【申込期間】 9月4日(月)～28日(休)
【申込先・問い合わせ】 生涯学習課
☎ 22-9679 FAX 22-9692
✉ gakushuu@city.iga.lg.jp

10言語対応「広報いが」デジタルブックで配信中!

Delivering Multi Languages!

無料 FREE APP

This Public relations magazine can be read in 10 languages

- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
- 読みやすいUDフォントで表示し、サイズも調整できる
- 動画や写真も楽しめる
- 10言語で読める・聞ける(音声読み上げ対応※)

※[音声読み上げ] ブラウザによっては対応していない場合があるため、専用ビューア「Catalog Pocket (カタポケ)」(無料)をご利用ください。

【問い合わせ】 秘書広報課
☎ 22-9636 FAX 24-7900 ✉ hisho@city.iga.lg.jp

※**申**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

お知らせ

10月1日は「浄化槽の日」

昭和60年10月1日に「浄化槽法」が施行され、この日が「浄化槽の日」となりました。

浄化槽は、私たちの家庭のトイレや台所などから出る生活排水を、微生物の働きを利用してそれぞれの家庭できれいな水にして放流するものです。このため、浄化槽の使い方や維持管理に問題があると、汚れた水の流出につながり、悪臭の発生を招くなど地域の住環境を悪化させる原因にもなります。

保守点検、清掃、法定検査は浄化槽法で義務づけられています。「浄化槽の日」を機会に、ご家庭の浄化槽が適正に維持管理されているか確認しましょう。

【問い合わせ】

- (-財)三重県水質検査センター
☎ 059-213-0707
- 下水道課
☎ 24-2137 FAX 24-2138

さくらリサイクルセンターからのお願い

◆リチウムイオン電池内蔵の小型家電はごみの出し方を誤ると発火の恐れがあります

充電式家電製品のバッテリーとして利用されているリチウムイオン電池が、ごみの処理中に発火するトラブルが全国的に増えています。市でも容器包装プラスチックなどに混入され、処理中に発火する事案が起こっています。

原因となる家電製品は、携帯電話やモバイルバッテリーなどの充電式小型家電です。充電式小型家電のバッテリー(リチウムイオン電池)は、製品から取り外さず、市役所本庁舎・支所・地区市民センター(一部を除く。)などにある回収ボックスへ家電本体ごと投入してください。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

- さくらリサイクルセンター
☎ 20-9272 FAX 20-2575

後期危険物取扱者試験(乙種4類、丙種) **申**

- 【と き】 11月4日(土)
- 乙種4類 午前・午後
- 丙種 午前

【ところ】 ゆめぼりすセンター

【申込方法・申込期間】

- 電子申請
9月3日(日)～12日(火) 午後5時
(一財)消防試験研究センター
ホームページから申し込み
- 郵送
9月6日(火)～15日(金)
消防本部、各分署にある願書に必要事項を記入

【申込先・問い合わせ】

- (一財)消防試験研究センター
三重県支部
☎ 059-226-8930

◆危険物取扱者試験予備講習

- 【と き】 10月6日(金)
- 午前9時20分～午後4時30分

【ところ】

伊賀市消防本部 3階研修室

【対象者】 危険物取扱者試験(乙種4類)受験者

【料金】

- 受講料 1,000円
(伊賀市防火協会会員は無料)
 - 教科書 1,000円
(伊賀市防火協会会員は半額)
 - 問題集 1,000円
(伊賀市防火協会会員は半額)
- ※すでに教科書・問題集をお持ちの場合は、購入不要

【定員】 先着60人

【申込方法】

消防本部までお越しください。
※電話による申し込みは受け付けできません。

【申込期間】 9月13日(火)～27日(水)

午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く。

【申込先・問い合わせ】

- 消防本部予防課
☎ 24-9103 FAX 24-9111

県政だより みえ
三重県広報紙をこちらからご覧いただけます



三重県広報紙課 ☎059-224-2755

講演会「橋本策博士の生涯」

橋本策博士は、現在の伊賀市御代に生まれ、ハンモト病を初めて発見したとして世界的に名高い医学者です。ドイツから帰国後、伊賀に戻り郷里で人々のために尽くした博士の生涯についてお話しします。



【と き】 10月15日(日)

午後1時30分～3時40分
【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【講師】

橋本策医学博士顕彰会
会長 川崎 記孝さん

【問い合わせ】 橋本策医学博士顕彰会
☎ 45-3232

女性のための就労支援講座 **申**

アートセラピーを体験し、さまざまなライフステージで生まれる女性特有のストレスやネガティブな感情に向き合い、ココロを整える方法を学びませんか。

【と き】 10月26日(木)

午後7時～9時

【ところ】 ハイトピア伊賀 4階多目的室

【内容】

- 演題：ストレスを和らげココロをほぐすアートの癒し
- 講師：公認心理師 栗本 美百合さん

【対象者】 市内在住・在勤の女性

【定員】 先着20人程度

【申込方法】 住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記の上、下記まで。

申込フォームからも申し込みできます。

【申込期限】

10月23日(月) 申込フォーム

【申込先・問い合わせ】

- 男女共同参画センター
☎ 22-9632 FAX 22-9666
✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

伊賀市戦没者追悼式

戦没者を追悼し、世界の恒久平和を祈念するため、伊賀市戦没者追悼式を行います。

【と き】 10月7日(日)

午前10時～
【ところ】 伊賀市文化会館 さまざまホール(西明寺3240-2)



【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎ 26-3940 FAX 22-9673

定例応急手当講習会 **申**

◆上級救命講習

【と き】 10月10日(火)

午前9時～午後5時
【講習内容】 成人、小児、乳児に対する心肺蘇生法、外傷手当や搬送方法

【定員】 先着20人

◆普通救命講習I

【と き】 10月21日(土)

午前9時～正午
【講習内容】 成人に対する心肺蘇生法、AEDの取り扱い、異物除去法、止血法

【定員】 先着30人

【対象者】

市内在住・在勤・在学の中・高・大学生以上

【ところ】 伊賀市消防本部

【申込方法】

インターネット・電話
※団体での申し込みは事前に電話でご相談ください。 申込フォーム

【申込期限】 講習日1週間前まで

【申込先・問い合わせ】

- 伊賀消防署管理課
☎ 24-9106 FAX 24-9111
✉ kanri-fd@city.iga.lg.jp

中心市街地活性化に向けたワークショップ **申**

中心市街地の活性化・にぎわいの創出に向け、皆さんにご意見を出し合っただけワークショップを開催します。

【と き】 9月23日(土)・30日(土)

いずれも午後2時30分～4時
(受付：午後2時～)

※原則両日参加
【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【対象者】

○市内在住・在勤・在学の人
○近隣市町村在住の人

【定員】 40人程度

※応募多数の場合は抽選

【申込方法】 申込フォーム
※申込フォーム以外で申し込みを希望する場合はお問い合わせください。 申込フォーム

【申込期限】 9月15日(金) 午後5時

【申込先・問い合わせ】

- 中心市街地推進課
☎ 22-9825 FAX 22-9695

木津川上流管内河川レンジャー活動 **申**

◆岩倉峡と木津川周辺散策、治水の歴史を学ぶ

【と き】 10月9日(月)

午前9時30分～午後3時30分

【ところ】 岩倉峡ほか

【定員】 20人

※定員になり次第締め切ります。

【対象者】 小学生高学年以上

※小学生は保護者同伴

【持ち物】 お弁当、飲み物、帽子

【申込先・問い合わせ】

- 木津川上流管内河川レンジャー事務局
(一社)近畿建設協会
☎ 0742-33-1300

子育て何でも問い合わせ窓口

子育てに関する手続きや、気になることなど、気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】

- こども未来課
☎ 22-9654 FAX 22-9646

消防団総合訓練

通常点検や想定訓練などを行います。
【と き】 10月1日(日)

午前8時30分～11時30分

【ところ】

◆メイン会場
○大山田・伊賀・阿山分団：
大山田せせらぎ公園Aグラウンド
(荒天時：大山田小学校体育館)

◆サブ会場

○上野中分団：
伊賀市消防本部訓練場
(荒天時：同3階研修室)

○上野西分団：
花垣地区スポーツレクリエーション
広場運動場 (荒天時：同体育館)

○上野北分団：
上野北小学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

○上野東分団：
中瀬小学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

○上野南分団：
旧比自岐小学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

○島ヶ原分団：
島ヶ原地区市民センター駐車場
(荒天時：島ヶ原会館)

○青山分団：
青山中学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

※観覧席を準備する予定ですが、会場などの都合により変更になる場合があります。

※荒天時は、訓練内容などを変更します。

【問い合わせ】

- 消防本部地域防災課
☎ 24-9115 FAX 24-9111

「ヘルプマーク」を知っていますか？
援助や配慮を必要とする人が伝えやすく、支援ができる人が気づきやすくなる「おもいやりの絆」をつなげるマークです。
【問い合わせ】 障がい福祉課
☎ 22-9656 FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp

※**㊦**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

未利用間伐材を搬出して 森林整備を進めましょう



◆**みえ森と緑の県民税市町交付金事業**
森林管理を進めるため、未利用間伐材の収集運搬に対して補助金を交付します。

【補助金の額】
搬出重量1トン当たり3,000円

【申請方法】
「発電利用に供する木質バイオマス証明材取扱者」に登録し、未利用間伐材の搬出重量を証明する書類、搬出状況の写真など必要な書類を添えて郵送または持参

【申請期限】
○4月1日～9月30日の搬出分：
10月13日(金)
○7月1日～12月31日の搬出分：
令和6年1月12日(金)
○10月1日～令和6年2月29日の搬出分：
令和6年3月8日(金)

【申請先・問い合わせ】 農林振興課
☎22-9712 FAX22-9715

住宅・土地統計調査に ご協力ください



住宅・土地統計調査は、住宅や住宅以外で人が居住する建物に関する実態、現住居以外の住宅・土地の保有状況、その他住宅などに居住している世帯に関する実態の現状と推移を明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的に国が行う調査です。

9月下旬から、調査員が調査をお願いする世帯に伺います。

パソコンやスマートフォンを使って回答することもできますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

【調査についての問い合わせ】
住宅・土地統計調査コールセンター
☎0570-06-3939
☎03-6706-2482 (IP電話)
※10月27日(金)までの午前8時～午後9時

【問い合わせ】 総務課
☎22-9601 FAX22-9672

上野天神祭 クラウドファンディング



ユネスコ無形文化遺産に登録され、絢爛豪華なダンジリと圧巻の鬼行列が魅力的な「上野天神祭のダンジリ行事」は、今年は10月20日(金)～22日(日)に開催します。

しかし、コロナ禍や人手不足などの問題により、運営に係る資金が不足しています。

400年の歴史を未来へつなげ、4年ぶりに通常開催となる上野天神祭の成功のため、クラウドファンディングを行います。ぜひ皆様のご協力をお願いします。



【募集期限】 10月22日(日)
【使用目的】 上野天神祭運営に係る警備費・看板設置費・広報費 など

【目標金額】 30万円
【支援額】 3,000円～
※寄附型・オールイン式ですので、集まった金額はすべて上野天神祭ダンジリ行事の運営費に充てさせていただきます。
※支援方法など詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】
上野天神祭地域振興実行委員会
(上野商工会議所内)
☎21-0527

市有地の売払い・ 一時貸付物件のご案内

事業で利用・活用する見込みがない土地などを、一般競争入札などの方法により売却・貸付しています。最新の物件情報は、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】
資産経営課
☎22-9690 FAX24-2440

臨床工学技士・ 言語聴覚士募集



【募集人数】 いずれも若干名
【応募資格】

○臨床工学技士：平成元年4月2日以降生まれで、臨床工学技士免許を持っている人または採用予定日までに取得見込みの人

○言語聴覚士：平成元年4月2日以降生まれで、言語聴覚士免許を持っている人または採用予定日までに取得見込みの人

【採用予定日】
令和6年1月1日、2月1日、3月1日、4月1日のいずれかの日

【勤務条件・賃金】
市の条例・規則による。
※前歴に応じた加算措置や諸手当があります。

※託児所がありますので、子どもがいる人も安心して勤務できます。

【勤務場所】
上野総合市民病院
【選考方法】 作文・面接
試験日：10月6日(金)
※時間などは応募した人に後日お知らせします。

【応募方法】
「伊賀市職員選考採用試験受験申込書」を持参または郵送(簡易書留)で下記まで。申込書は上野総合市民病院にあるほかホームページからダウンロードできます。

【応募期限】
9月22日(金) 午後5時15分
※必着
※土・日曜日、祝日を除く。

【応募先・問い合わせ】
上野総合市民病院病院総務課
☎41-0065 FAX24-1565

＼24ページの答え／

④江戸
嘉永7年(1854)に北部の山並みにある木津川断層を震源として発生した大地震(伊賀上野地震)がありました。

※設問と回答は「伊賀学検定370問ドリル」(上野商工会議所発行・伊賀学検定実施委員会編集)から抜粋

伊賀市景観審議会 委員募集



伝統と風格のある伊賀らしい景観形成の推進に関する事項を調査審議するにあたり、皆さんからご意見をいただくため、伊賀市景観審議会委員を募集します。

【募集人数】 2人
【応募資格】

市内在住の満18歳以上の人で、市議会議員・市職員・市が設置する審議会または市の附属機関の委員でない人
【任期】

12月1日～令和7年11月30日
【報酬】 6,000円/日

【審議会の開催】
年2回程度(原則、平日の日中、2～3時間程度)

【応募方法】
住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記の上、「応募の動機」を800字以内にまとめ、ファックス・郵便・メール・持参のいずれかで提出

【応募期限】
10月27日(金) 午後5時 ※必着
【選考方法】 作文審査
※委員の構成比率を勘案して決定します。
※選考結果は、応募者全員に通知します。

【問い合わせ】 都市計画課
☎41-0290 FAX22-9734
✉tokei@city.iga.lg.jp

「広報いが」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

【問い合わせ】 障がい福祉課
☎22-9657 FAX22-9662
✉shougai@city.iga.lg.jp

行政だより「ウィークリー伊賀市」 市公式YouTubeチャンネルで配信中!

最新の放送内容を視聴できるほか、過去の放送分も視聴できます。

【問い合わせ】
秘書広報課
☎22-9636
FAX24-7900

菜の花(ナタネ)を 栽培してみませんか



市では、環境にやさしい農業の実践と資源循環型社会の構築をめざし、菜の花プロジェクトを推進しています。また、このプロジェクトから生まれた伊賀産菜種油に「七の花」と名前をつけて地域の特産物としています。

菜の花の栽培面積を拡大し、遊休農地などを解消するため、希望者に搾油用・景観用の菜の花の種子を配布します。



◆**菜の花プロジェクト**
地域内に資源循環の輪を創ることで地域の活性化をめざす活動

- ①菜の花を栽培(美しい農村風景を作る)
- ②菜種を収穫
- ③菜種油を生産(地域の特産物を作る)
- ④地域の特産物として販売
- ⑤搾油時に出る油粕を肥料や飼料に利用

栽培暦	
8月	9月
(発芽)	
10月	11月～1月
(越冬)	
▲	▲
土づくり	種まき
2月	3月
(開花)	
▲	▲
追肥①	追肥②
▲	
収穫	

【申込方法】 「秋播きナタネ配布申請書」に必要事項を記入の上、位置図を添付して持参または郵送

【申込期間】 9月1日(金)～29日(金)
【申込先・問い合わせ】 農林振興課
☎22-9713 FAX22-9615

義援金受付中

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、支援を必要とする方々にお届けします。

【義援金箱の設置場所】
○本庁舎 1階ロビー
○各支所(上野支所を除く。)

【問い合わせ】
医療福祉政策課
☎26-3940
FAX22-9673

社会を明るくする運動 作文コンテスト審査結果



社会を明るくする運動伊賀市推進委員会では、犯罪や非行のない地域社会はどのようにして実現できるのかを考えるきっかけとして、市内の中学生を対象とした作文コンテストを毎年開催しています。

今年は市内の中学校10校が参加し、応募作品2,023点の中から、12点の作品が入賞しました。

◆**審査結果** ※敬称略
【最優秀賞】
「感謝の気持ちを伝えること」
安田 琴美(阿山中学校3年生)

【優秀賞】
坂本 莉彩(島ヶ原中学校3年生)
荻田 涼雅(島ヶ原中学校3年生)
花垣 颯志(青山中学校3年生)

【奨励賞】
中山 珠母史(崇広中学校3年生)
長井 鈴々(緑ヶ丘中学校1年生)
里 珠琳亜(上野南中学校3年生)
山本 実季(城東中学校2年生)
林 美潤(柘植中学校1年生)
稲葉 美織(霊峰中学校2年生)
西 美陽(大山田中学校3年生)
川口 賢治(青山中学校1年生)

【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎26-3940 FAX22-9673

防衛大学校学生募集



【募集種目】 防衛大学校学生(一般)
【受付期限】 10月18日(水) ※必着
【試験期日】
1次試験 10月28日(出)

【合格発表】
1次試験 11月17日(金)
【応募資格】 高卒(見込含)者または高専3年次終了(見込含)者で18歳以上21歳未満の人

※詳しくはお問い合わせいただくか、自衛隊三重地方協力本部ホームページをご覧ください。

※自衛官候補生については、年間を通じて募集しています。

【応募先・問い合わせ】
自衛隊三重地方協力本部伊賀地域事務所
☎21-6720

芭蕉翁記念館だより

◆手紙のひと 芭蕉
芭蕉さんは、江戸時代の作家のなかでも特に多くの手紙を残したことで知られ、現在までに200通以上の手紙が伝わっています。芭蕉さんとともに「元禄の三大家」と呼ばれている井原西鶴・近松門左衛門はというと、西鶴の手紙は7通ほど、近松の手紙は10通ほどしか伝わっていませんので、芭蕉さんの200通以上という数字は驚くべきものです。

ここまで多くの手紙が伝わっている理由は、ひとつには芭蕉さんが筆まめだったからでしょうが、もうひとつには、芭蕉さんから手紙をもらった相手が大切に保管してくれていたからでしょう。芭蕉さんからの手紙だからとっておきたい、大切にしたいと思われていたということです。

芭蕉さんの手紙を読むと、俳句の指導だけでなく、相手の仕事のことや家族のこと、使用人のことなどさまざまなことが書かれており、相手を気遣うこまやかな配慮がうかがえます。そうした芭蕉さんだからこそ、たくさんの人に大切にされてきたのでしょう。

【問い合わせ】
○文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619
○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

◆企画展「読みたい！芭蕉さんの文字」開催中
9月10日(日)まで
◆第77回芭蕉祭特別展「手紙のひと 芭蕉」
9月15日(金)～12月24日(日)
午後1時30分～ ※要入館料



『絵入おくの細道』(伊賀市蔵)より特別展で公開予定

伊賀の歴史余話 31

伊賀の偽文書

市内で歴史資料の調査をしていると、まれに記述や筆跡、紙質に不可解な点のある古文書に出会います。このような時に頭をよぎるのが、伊賀で密かに作られた偽文書「まるまん文書」の存在です。

偽文書は、家柄や土地柄に権威を付けるため、時代を越えて全国各地で作られました。明治期の伊賀で作られたとされるまるまん文書は、その存在の有無を含め、謎に包まれていました。しかし、近年になって約80点におよぶ文書が発見され、その特徴が明らかになりました。

まるまん文書が描くのは、地域の来歴や寺社の由緒です。「吾妻鏡」などの実在する歴史書からの引用を騙り、式部塚(喰代)や兼好塚(種生)などの各地に残る伝承を組み込むことで、どこかで聞いた話という信憑性を補いながら、虚構の歴史を作り上げています。

その最大の特徴は、文書が「中出清閑坊博霞」なる人物によって書かれていることです。もちろん架空の人物です。清閑坊は、古くから伝わった

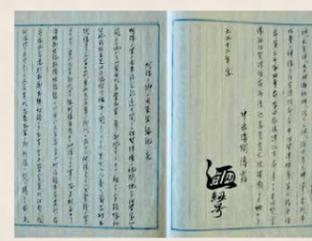
文書が水難で破損したため、改めて書写したと、文中で文書作成の経緯を説明しています。しかし、これは偽文書を作る際の常套手段です。書写ならば紙質が新しいことへの疑問は消え、記された内容自体は古くから伝えられたと主張できるのです。

まるまん文書には、資料価値を高めるための表装、年代を古くみせるための古色を施した痕跡も見られます。これらの文書が、どれほど地域に流布したのかは不明ですが、実際にまるまん文書を書写した資料も確認されています。案外ひっそりと、しかし確実に地域の歴史に浸透しているのかもしれない。

文化財課歴史資料係
☎/FAX 41・2271



▲まるまん文書 (伊山文庫蔵)



◀書写されたまるまん文書 (青山公民館旧蔵)

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

自身の人権意識を監査してみる — 監査委員事務局 —

人権について考えるコラムです。

監査とは、ある事柄に対して、守るべき法令や規定などの基準に照らして、業務や成果物がそれらに則っているかどうかを確かめ、その証拠に基づいて、監査対象の有効性を合理的に保障することとされています。

このことを、人権意識に置き換えて考えてみると、人権が尊重される社会をめざすための取り組みを実践するために守るべき法令は、日本国憲法をはじめ、さまざまな分野に張り巡らされた国内法、世界人権宣言や人種差別撤廃条約などの国際条約です。

これらの法令などは、先人たちが少しでも暮らしやすい社会の実現をめざして作られた苦勞のたまものです。現在さまざまな差別が社会問題として取り上げられている中、法令の理解を含めた認知度を上げるような取り組みが求められています。

世の中で、毎日のように起こるさまざまな事件、

また自分自身の日々の行動をその基準のフィルターを通して考え振り返ることが、身近な家族や近い仲間の中に人権を尊重する意識を芽生えさせ、少しずつその輪が広がっていくと思います。

家庭での会話の一コマで、小学生の子どもが、外国にルーツのある友達が話せる言葉(外国語)を「変な言葉」と表現したときには、「自分たちと違うタイプの言葉やね。だけど世界にはいろんな国や人種があるから、違いがあっても当たり前だし、認め合っていないとね」と絶妙のタイミングと優しさをもって伝えられる感覚と、そんなやりとりができる関係を育てていきたいと思えます。

人権感覚のアンテナの感度を良好に保つ工夫を忘れず人権が尊重され、個人が自由に暮らせることが保障される社会の実現のために、小さな試みですが自らの人権監査を実践したいと思います。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

IGAMONO セレクション No.41

【問い合わせ】 商工労働課 ☎ 22-9669 FAX 22-9695

市内で自家栽培しているガーデン・ハックルベリーは、ナス科の一年草(野菜)です。

1粒ずつ手摘みした完熟の実に甜菜糖を加え、水を一切入れず煮詰めて作るコンフィチュールは、トロツとした濃厚さが特徴で、黒みがかった濃紫色になります。また、添加物やクエン酸を使わず、穏やかな酸味をつけるため南高梅を使っています。ビタミンAがブルーベリーの4倍以上、アントシアニンは約3倍以上といわれています。

パンにバターと一緒に塗るとよく合います。ぜひお試しください。



コンフィチュール ガーデン・ハックルベリー



メリ樹～Meriju～ 高濃 みつ子さん

2014年にパイルブルーの小さなお店『メリ樹』を平田にオープンしました。メリ樹(Meriju)という名前は、店主(母)の名前の頭文字Mと娘の名前eriを組み合わせ、樹は樹木のように(父のように)どっしりとしたお店になるようにとの願いを込めています。また、当店のラベルは、木苺が日本みつばちの力を借りて受粉して実る物語を表現しており、伊

賀の自然の豊かさをアピールしています。家族3人で栽培・製造・販売と分担し、できるだけ農薬を使わずに自家栽培したガーデン・ハックルベリーや木苺、ローゼル、スモモ、安納芋などを用いて、無添加でオリジナルブレンドのコンフィチュールやヨーグルトソースを製造・販売しています。



10月の無料相談

暮らしのいろいろな問題と悩みごとについて相談をお受けします。詳しくは市ホームページをご覧ください。



相談内容	開催日	時間	場所	問い合わせ/備考	電話
法律相談 ※予約制 *市職員(弁護士)が相談に応じます。 (年度内1回のみ)	① 12日(木) ② 24日(火)	13:00 ~ 16:30	本庁舎 2階相談室3	住民課 ① 10/5 8:30 ~ 受付 ② 10/17 8:30 ~ 受付 ※先着6人	22-9638
法テラス法律相談(弁護士) *収入要件あり ※予約制	18日(水)	13:00 ~ 16:00	本庁舎 2階相談室3	法テラス三重 ※受付期間(10/17) ※先着6人	050-3383-5470
女性法律相談(離婚・親権など) ※予約制	11日(水)	13:00 ~ 16:00	ハイトピア伊賀 4階相談室	人権政策課 ※受付期間(9/25 ~ 10/6) ※先着4人	22-9632
行政相談(行政相談委員) *行政に関わる日常の困りごとをお伺いします。	6日(金)	13:30 ~ 16:00	阿山保健福祉センター 2階会議室	阿山支所	43-0333
	11日(水)	13:30 ~ 15:30	本庁舎 2階相談室3	住民課	22-9638
			島ヶ原支所 1階応接室	島ヶ原支所	59-2053
17日(火)		伊賀支所 1階談話室	伊賀支所	45-9104	
人権相談 (人権擁護委員)	4日(水)	13:30 ~ 16:00	島ヶ原支所 会議室	人権政策課	22-9683
	6日(金)	9:00 ~ 12:00	青山複合施設 アオーネ 会議室1		
		13:30 ~ 16:00	阿山保健福祉センター 2階会議室		
	10日(水)	13:30 ~ 16:00	西柘植地区市民センター		
19日(木)	ハイトピア伊賀 4階相談室3				
司法書士相談(登記・相続・借金問題など) ※予約制	25日(水)	13:00 ~ 16:00	本庁舎 2階相談室3	住民課 ※受付期間(9/28 ~ 10/23) ※先着5人	22-9638
出張年金相談 ※予約制	4日(水)	10:00 ~ 15:00	ハイトピア伊賀 3階	津年金事務所	059-228-9112
	20日(金)				
外国人のための行政書士相談 ※予約制	5日(木)	13:30 ~ 16:00	ハイトピア伊賀 4階多文化共生センター	多文化共生課 ※受付期間(10/2) ※先着4人	22-9702
こころの健康相談 ※予約制	25日(水)	14:00 ~ 17:00	三重県伊賀庁舎 1階	伊賀保健所	24-8076
健康相談	27日(金)	10:00 ~ 11:00	ハイトピア伊賀 4階ミーティングルーム	健康推進課	22-9653
高齢者の就業相談	5日(木)	13:30 ~ 15:00	島ヶ原支所	シルバー人材センター	24-5800
	19日(木) ※予約制		伊賀市シルバーワークプラザ		

※このほか、常時開設相談(消費生活相談、空き家に関する相談、高齢者・障がい者の総合相談、女性相談、家庭児童相談、母子・父子自立相談、こどもの発達相談、教育相談、青少年相談、若年の就労相談、雇用・労働相談、生活にお困りの方の相談、人権相談)もあります。
※ハイトピア伊賀駐車場は有料です。



司書のおすすめ

■児童書

『私の職場はサバンナです!』

太田 ゆか/著

著者の太田さんは、南アフリカ政府公認のサファリガイド。サバンナの動物たちの生態や魅力を紹介するとともに、現地で直面している環境問題や動物の保護、人と自然の共生について語ります。



『10代のうちに知っておきたい言葉と心の切りかえ術』

大野 萌子/著

『一年一組せんせいあのね』

鹿島 和夫/選、
ヨシタケ シンスケ/絵

■一般書

『私はないものを数えない。』

葦原 海/著



『農家が教えるいもづくし』

農文協/編

■絵本

『ねこのゆめ』

荒井 良二/著



『どうぶつみずそうどう』

かじり みな子/作

図書館(室)からのお知らせ

◆大人のための図書館探検

図書館のしくみを学んで、お題の本を探したり、本のPOPを作ったりします。

作ったPOPは見学ツアーの切符がわり! 図書館のバックヤードも見ることができます。

【とき】 9月24日(日)

○1回目 午後2時30分~

○2回目 午後3時30分~

※いずれも1時間強程度、POP作りのために、視聴覚室を午後5時まで開放します。

【ところ】 上野図書館

【対象者】 中学生以上

【定員】 各回先着15人程度

【申込方法】

上野図書館まで来館または電話

【申込期間】 9月9日(土)~24日(日)

※定員に達していなければ、当日参加可



◆郷土の歴史夜咄会

伊賀の文化・歴史について、ゆかりの人物を中心に語ります。

【とき】 9月15日(金) 午後6時~7時30分

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【テーマ】 陶磁器デザイナーの日根野作三

【講師】 「佳譚蔵文庫」主 北出 橋夫さん

※ご来場の際は、上野図書館駐車場または、市営上野公園第3駐車場(午後5時以降無料)をご利用ください。

9月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分~1時間程度)

とき	ところ	催物(読み手)
9日(土) 10:30~	大山田図書館 上野図書館	おはなしたいむ(きらきら) おはなしの会
11日(月) 10:00~	西柘植地区市民センター小ホール	絵本の時間(お話の国アリス)
16日(土) 10:30~	阿山図書館	読み聞かせの会(はあと&はあと)
19日(水) 10:30~	大山田図書館	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会
20日(木) 10:30~	上野図書館	えほんの森(よもよも)
23日(土・祝) 10:30~	上野図書館	えほんの泉(kiko きこ)
27日(水) 10:30~	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会

上野総合市民病院だより

◆誤嚥性肺炎対策チームの取り組み

誤嚥性肺炎とは、飲み込む力や咳をする力が低下することにより、食べ物や唾液などが誤って気道に入り、それらに含まれる細菌によって引き起こされる肺炎のことです。なかでも高齢者や要介護状態の場合は、体力や筋力の低下、栄養不足や口腔内の汚れなどが原因でかかりやすく、肺炎を繰り返すと命の危険があることもわかっています。そのため、誤嚥性肺炎には予防や対策が大切です。

当院では医師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士など専門職が、原因について話し合いながら取り組んでいます。

具体的には、唾液や咽頭（のど）に潜む細菌を減らすために、舌や歯を清潔に保つための口腔ケアの



強化や、体の抵抗力を高めるよう飲み込む機能に応じた食事内容の調整や栄養ケアを行います。あわせて、誤嚥したものを反射的に吐き出す力を高めるよう、食べる姿勢、喉や口周囲のマッサージなどの支援を行ったり、服用中の薬の影響や調整の検討も行っています。

なお、退院時、家族へは在宅での予防に向けたアドバイスを、入所施設へは入院中の経過についての情報提供を行っています。

(リハビリテーション課 正木 健太)

9月の二次救急実施病院

◎各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
*小児科以外の診療科です。					1 上野	2 名張
3 岡波・名張	4 岡波	5 名張	6 岡波	7 名張	8 上野	9 上野
10 岡波	11 岡波	12 上野	13 岡波	14 名張	15 上野	16 名張
17 岡波・名張	18 岡波	19 名張	20 岡波	21 名張	22 上野	23 上野
24 岡波	25 岡波	26 上野	27 岡波	28 名張	29 上野	30 名張

※重症者が重なるなど、診察できない場合があります。

※非当番日は救急の受け入れを行いません。

《実施時間帯》 平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分

《実施時間帯（岡波総合病院）》

月曜日：午後5時～翌日午前9時 水曜日：午後5時～翌日午前8時45分
日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

二次救急（重症）の人が対象です。

救急車での搬送限定ではありませんが、必ず受診前に連絡が必要です。

上野総合市民病院 ☎ 24-1111

名張市立病院 ☎ 61-1100

岡波総合病院 ☎ 21-3135

◎伊賀市応急診療所（一次救急）

【診療科目】 一般診療・小児科 【所在地】 上之庄 1700-1 ☎ 22-9990

【診療時間】 月～土曜日：午後8時～11時

日曜日・祝日：午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時

※受付は診療終了時刻の30分前までです。

※各種感染症検査（新型コロナウイルスなど）は行っていません。

※点滴・レントゲン検査・血液検査などはできません。

※救急車利用の場合の帰りの手段は各自で手配してください。

◎伊賀市救急・健康相談ダイヤル24

☎ 0120-4199-22

※通話料・相談料は無料です。

◎三重県救急医療情報センター

☎ 059-229-1199

受診できる医療機関をご案内（24時間）

伊賀市の人口・世帯数 ○総数 86,278人 ○世帯数 40,465世帯
令和5年7月31日現在 ○男 42,409人 ○女 43,869人

広報いがをスマホでチェック



マチイロ

